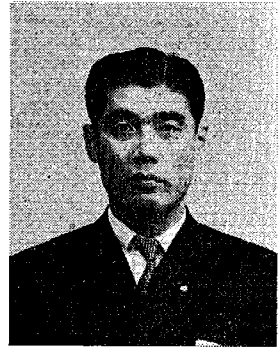


せく下・婦人服地・婦人既製服
 ター・肌着・ランジェリー
世界のモードをこくめる



レナウン商事株式会社
 レナウン工業株式会社

巻頭言



渡辺 和美

(東京都ハンドボール協会会長)

中学体育 復活へ全力 指導要領

評議員会のあり方に疑問

私は東京都協会の会長に就任してまだ間もないが、本部協会はじめ地方協会、選手諸君に次のことを希望します。

一、中学の体育指導要領にハンドボールを復活させるようにさらに努力していただきたい。7人制に切り替わった現在、これから伸びるためにはやはり中学時代からハンドボールに親しむことです。高校に入學してからハンドボールを始めたのではおそいと思います。幸いなことに東京、愛知、熊本、茨城はじめ各方面で中学校に力を入れてあります。地方の盛り上がった声を土台にして中学の体育指導要領の復活運動を展開してもらいたい。中学でハンドボールをやった地方は強くなり、優秀選手も出ます。現在の高校、大学のレベルを100とする

と、三年四年後にはレベルがぐっと低下するのではないだろうか。それは中学時代に基礎をやらなかったことに起因するのでは

なからうか。

高校入學後に基礎をやっていたのではとうてい間に合わない。したがってレベルの低下はもちろん、7人制のおもしろ味という点が大いに欠けてくる。私はこれを恐れている。私も大いに協力します。

二、年間を通じて最優秀選手、つまり7人制のための「ベスト7」の制定を希望します。これは優秀選手の名譽ばかりではなく、これを目ざして全国のプレーヤーがもっと努力すると思うからです。別にプロ野球、六大学野球、サッカー、ラグビーのまねをしるというのではなく、大きな励みのためにいいと思います。

三、評議員会のあり方について協力してほしい。協会の年間予算がわずか百五十万円―二百万円ではたして運営できるかどうか考えていただきたい。評議員会は協会の予算を増額することを真剣に考えてやらな

いと、執行部はたいへんです。評議員会は金をどうして集めるか。不自然な収入よりも、各都道府県への割り当てを増額すべき

だと思ふ。地方の会長もじゅうぶんこの点を研究していただきたい。戦後、評議員会全体の人づくりを考える時期に到達したのではないか。抹消的なことしかできないと勘ぐられても仕方のないことである。二百万前後の予算で海外遠征ができる。だろうか。各県の会長、理事長はもっと反省し、協会に協力していただきたい。

四、関西学連の関学チームがレフェリーのジャッジにたいして不満を持ち、試合を放棄したのには驚いた。「審判は神聖である」―アマススポーツにたずさわるものなら、だれでもが知っていることである。レフェリーの不信任は絶対に許されない。お互いに反省しようではありませんか。

「ハンド」第15号目次

巻頭言……………渡辺和美(1)

日本はD組にシード……………(2)

めざせ打倒ルーマニア……………(3)

第13回国際審判講習会……………若崎重富(4)

西独では国民のスポーツ……………藤本強(5)

すばらしい西独のダンシング……………勝繁夫(7)

第15回全日本総合選手権……………(9)

立大・大洋デパート初優勝……………高嶋洵(11)

総評・力の差がなくなった上位……………(11)

第6回全日本学生選手権……………(18)

立大・大阪教職員選手権……………(20)

第14回全日本高校選手権……………(21)

桜台・静岡城北が連続優勝……………(21)

韓国、粘りとスタミナ發揮……………(26)

親善試合を終えて……………(26)

アジア連盟の結成を……………(28)

印象的対日体大戦……………徐康錫(28)

連載……………(28)

体育研究室(6)……………山本隆久(14)

ハンドボール選手のトレーニングII……………(14)

技術研究室(7)……………遠藤健次(24)

防衛の研究について……………(24)

ハンドボール球史(6)……………(29)

関東学生リーグ戦前編……………(29)

地方球界の歩み(2)……………(30)

愛知県・茨城県の巻……………(30)

協会誌より……………(16)

楽書評……………(16)

海外通信……………(16)

話題のチーム……………(16)

岡野バルブの巻……………(15)

表紙写真―全日本総合、全日本学生の大タイトルを獲得した立大チ……………(15)

世界選手権、日本はD組にシード

第5回世界7人制(男子)ハンドボール選手権大会は39年3月6日から15日までプラハ(チェコ)で開催される。日本はすでにエントロリーシ、D組にシードされた。D組はルーマニア、日本のシード国のほか、ノルウェー対オランダの勝者、ソ連対フィンランドの勝者の4チームで第一次リーグを行なう。

39年3月6日からプラハで

▽：国際ハンドボール連盟の広報(1963年8月、第42号)および共同通信社のAP電によると第5回世界7人制(男子)選手権大会は39年3月6日からプラハで開く。参加国は別表の26チームだが、前回優勝のルーマニア、2位チェコ、3位スウェーデンと西独、東独、デンマーク、アイスランド

日本は予選なしで第1次リーグに出場することになった。他の18チームはことしの12月15日から来年1月19日までの間に、2回戦方法で予選を行なう。

ソ連対フィンランド
ルクセンブルグ対スイス
ポーランド対ハンガリー
ユーゴ対オーストリア
ノルウェー対オランダ
スペイン対フランス
米国対カナダ
▽：アフリカ・グループの組み合わせは次のとおり。
シリア対アラブ連合

象牙海岸対セネガル
この勝者が対戦して勝ったチームがB組から出場する。

▽：米国の登録は申し込み締め切り後に到着した。これは郵便のミスによるもので、米国協会の責任

目標はまず2勝！

第5回世界7人制(男子)大会の組み合わせが、さる8月31日にIHFから別表のとおり発表になった。(AP共同電による)

この大会は1963年3月にチエコで行なわれる。これは1961年9月、スペインの首都マドリッドで開かれたIHF総会で最後まで東京と開催を争った。表決の結果、日本が敗れた因念浅からぬ大会でもある。すでに日本ハンドボール協会はさる2月の定例評議員会で、ナショナルチームの派遣を決定した。正式エントロリーの結果、組み合わせの発表になったの

ではない。したがって米国の参加を認めた。米国はカナダと予選(2回戦方式)を行ない。勝ったチームがA組から出場する。

である。前回同様にまたも最強グループにはいったのは、神が日本に与える試練であると考えたい。決定しているグループ別に検討すると、Aグループの順位は、おそらく西独、東独、オーストリア、アメリカとなろう。

Bグループはスウェーデン、アイスランド、ハンガリー、アフリカの優勝国。Cグループは、チェコ、デンマーク、フランス、スイスとなるのが順当であろう。ところで問題は日本が加わってDにいるグループである。各グループの2位までが第2次リーグへの

出場資格を得る。日本としては是非でも2位に食い込まなければならぬ。それには世界チャンピオンであるルーマニアは別として、おそらく予選で勝ち進むと予想されるノルウェーとソ連をたかなければならない。

私が昨年、一昨年と欧州遠征したとき、見たり聞いたりした限りでは、ノルウェーはスウェーデンの流れを汲み、卓越した個人技に重点をおくチームである。オフフェンス、デフェンスともに1-5システムを採用し、中央からのロングシュートと中央のポストプレーを併用していた。

ソ連はルーマニア、チェコの流れにしたがって、ものすごい力とスピードに重点をおくチームと見受けられた。オフフェンスは1-5デフェンスは1-4のシステムを採用し、フランスと同様に日本にいちばんよく似たチームである。いずれにしても相手にとって不

足はない。まず2勝することが当面の目標である。(高嶋 洵)

オリンピック情報

ハンドボールまた

除外

第19回大会はメキシコ市でことしのIOC総会(国際オリンピック委員会総会)は十月西ドイツのバーデンバーデンで開かれ、第19回オリンピック大会の開催地をメキシコ市と決定した。またこの総会で開催競技種目を18種目(東京オリンピックは20種目)と決まった。開催種目は表決によるもので、各国IOC委員が競技名の上に×をつけて投票。柔道が最高の37でまず除外され、次いでバレーボール、ハンドボール、洋弓の順

めざせ！ 打倒ルーマニア

来年の第5回7人制世界選手権に日本が出場する。一昨年の第4回大会に次いで2度目の出場だが、日本の実力はいったいどのくらいなのか。こんどの組み合わせをみるとルーマニアは別として、ソ連、ノルウェーが出てきそうだが、日本が第2次リーグに出場し、ベスト8でのぞむなら第1次リーグで2勝しないとだめ。日本対ルーマニアの試合はどうみても日本には分がない。ルーマニアは前回のチャンピオン・チームであり、こんども有力な優勝候補である。高嶋理事長は「ルーマニアを除く他の2チームに勝たなければならぬ。それがソ連、ノルウェー、

あるいはオランダ、フィンランドにしても、とにかく2チームを倒すことだ」という。日本にとつてはこれはかなり重荷である。欧州は各国間での国際ゲームが多い。これは立地条件によるもので、日本はとうていのぞめない。一昨年の第4回大会の記録をうのみにするのは実に危険である。ソ連にしろ、フィンランドにしろ、国際試合の経験が非常に豊かである。日本は第4回大会いらい国際試合から遠ざかっているのだ、なんとなく不安に思う。2勝して第2次リーグに出場するのいいが、それよりも「打倒ルーマニア」の方が先ではないだろうかと思はさう。

ルーマニアを破ることが、第2次リーグ進出の大きなポイントになる。最初から「ルーマニアには勝てない」という先入観で試合をするのはあまりいいことではない。3年前の35年6月にルーマニア、チームが来日している。最終戦の対芝浦工大戦で17-16と1点差のすえ、ルーマニアが辛勝している。「国際親善試合だからルーマニアが力を抜いたんだ」という人もあるが、とにかくこの試合は七度も同点になり、タイムアップ寸前ブルガルのシュートが決まってルーマニアが逃げ切った。日本もベストをつくせば「ルーマニア恐れるにたらず」である。ベスト・メンバーを編成して「打倒ルーマニア」に力を打ち込んでほしい。(駕尾武治)

参加チーム

- (シードされた国) = 8チーム
 日本、西独、東独、デンマーク、チェコ、アイスランド、ルーマニア、スウェーデン
 (予選をやる国) 18チーム
 オーストリア、カナダ、米国、象牙海岸、アラブ連合、スペイン、フィンランド、フランス、ハンガリー、ルクセンブルグ、ノルウェー、オランダ、ポーランド、セネガル、スイス、シリア、ソ連、ユーゴ

スケジュール

- ▽第1次リーグ (3月6, 7, 9日)
 (A組) 西独、東独、ユーゴ対オーストリアの勝者、カナダ対米国の勝者
 (B組) スウェーデン、アイスランド、ポーランド対ハンガリーの勝者、アフリカグループの勝者
 (C組) チェコ、デンマーク、フランス対スペインの勝者、スイス対ルクセンブルグの勝者
 (D組) 日本、ルーマニア、ノルウェー対オランダの勝者、ソ連対フィンランドの勝者

- ▽第2次リーグ (3月11, 13日)
 (1組) A 1位, A 2位, B 1位, B 2位
 (2組) C 1位, C 2位, D 1位, D 2位

▽順位決定戦
 1位から8位までの順位を決めるため、1組、2組の同順位チームが対戦する。5位から8位までの決定戦は3月14日、1位から4位までの決定戦は3月15日。(各チームは合計6試合行なうことになる)

協会だより

フランスチーム招待
 △：日本協会は来年6月にフランスチーム(男女合わせて35人)を招待することになり、フランスのステラ1チームから来日すると連絡があった。

優秀選手を表彰

日本協会は本年度から男子、女子、男子ジュニア、女子ジュニアの四部門の優秀選手を選考し、表彰することになった。すでに選考委員のメンバーも決まり、全国高校選手権、全日本学生選手権、全日本総合選手権、国体、全日本総合室内選手権、全日本学生王座決定戦、全日本実業団選手権から選考する。選考を終わった大会は全国高校、全日本学生、全日本総合、国体である。

選考委員

- ▽技術部 松本重雄(協会常務理事)
- (2人) 事 安藤純光(法大監督)
- ▽審判部 若崎重富(協会審判部)
- (2人) 長 岡村昭二(協会常務理事)
- ▽理事会 高嶋潤、山田計、入江(4人) 暢一、田中秀夫
- ▽学識経験者 的場益雄、吉田正(3人) 次郎、山田二郎

なお高体連関係は徳永陸繁氏に一任。
 ▽種別
 男子(大学、一般) GPK 182人
 女子(大学一般) GPK 182人
 男子ジュニア(高校) GPK 183人
 女子ジュニア(高校) GPK 183人
 男子ジュニア(高校) FPK 183人
 女子ジュニア(高校) FPK 183人

となった。総会が開かれるまでは次期開催地はリヨン(フランス)デトロイト(米国)の争いとみられ、「開催地がもしリヨンと決まれば、ハンドボールが正式種目になるかもしれない」という希望的観測があった。ところが表決の結果、メキシコ市と決まり、ハンドボールはまたも陽の目を見ずに終わった。メキシコ市に決定したのはソ連はじめ共産圏の票がメキシコ市に集まったといわれている。ユーゴ、ルーマニア、チェコの共産圏をはじめスイス、西ドイツ、東ドイツ、フランス、日本のハンドボール関係国が、はたしてハンドボールに「X」をつけたかどうか。ソ連がかなりの支配権を持っていただけに注目された総会であった。

▽高嶋理事長の話、AP通信
 東京支局が朝早く電話で知らせてきた。リヨンなら可能性があったが、開催地がメキシコ市とは驚いた。日本のIOC委員がどんな投票をしたか知らないが、とにかく残念だ。でもオリンピックばかりがスポーツではない。われわれは世界選手権で上位入賞を目標にしてこんごも大いにがんばる。

23カ国が参加して

第13回国際審判講習会

若崎重富

(日本ハンドボール協会審判部長)



質問に答えているエミルホルル技術委員長

国際ハンドボール連盟主催の第13回国際審判講習会は、7月17日から20日までパリのフランス国立スポーツ研究所で世界23カ国から関係者が参加して行なわれた。この講習会には日本から日本協会審判部長の若崎重富(日体大OB)、同協会ルール研究員の藤本強(東大OB)の両氏が出席し、8月19日帰国した。それで若崎氏に同会議の報告、藤本氏にヨーロッパのハンドボールのもようなどをお願いした。(編集部)

〔期日〕 1963年7月17日(～)20日

〔場所〕 フランス国立スポーツ研究所(パリ)

〔講師〕 国際ハンドボール協会技術委員長エミール・ホルル氏。ほか技術委員会委員数名

〔参加国〕 アルジェリア、西ドイツ、オーストリア、ベルギー、デンマーク、アラブ連合、スペイン、フィンランド、フランス、オランダ、ハンガリー、ルクセンブルグ、モロッコ、ノルウェー、ポーランド、セネガル、スウェーデン、スイス、チェコ、チェコスロバキア、ユーゴ、日本、象牙海岸(オプザバー)以上二十三カ国

〔会議日程〕

『7月17日』午後4時(フランス国立スポーツ研究所で受講者の登録および宿舎の割り当て。夕食後は自由行動)

『18日開会』(9時～10時)小講堂

▽フランスハンドボール協会々長 プチ・モンゴメール氏の歓迎のことば

「よくフランスにおいでください。東京オリンピックには残念ながらハンドボールは競技種目にはいりませんでした。こんごのオリンピック

にぜひハンドボールが競技種目にはいるようにしたい。パリではよく飲み、よく食べ、よく研究をし、運動し、パリでの生活を楽しんでください。」

▽国立スポーツ研究所所長の歓迎のことば

「国立スポーツ研究所に多くの国々からスポーツの友たちをお招きできてほんとうにうれい。どうかよく学び、よく運動をしていて下さい。」

▽エミール・ホルル技術委員長の開会のことば

「フランスハンドボール協会々長、フランス協会技術委員長のおかげで第十三回国際審判講習会をパリで開催できたことはうれい。まずフランス協会に心からお礼を申し上げる。この講習会は二年ごとに総会のない年に行なってきた。これまでミュンヘン、プラハで行ない、今回はパリで開くことになった。全部の国で協力し、ハンドボール競技を大きく前進させていきたい。シリアなど三カ国は出席の通知がありながら参加がなく残念だが、二十三カ国の参加を得ていままでは最大の講習会となったことはうれい。技術委員会は重要な任務をもちている。この講習会の内容をじゅうぶん覚えて国に帰り、かならず伝達してほしい。実際のプレーはパリのジョワンビルクラブ、ステラー

クラブにやってもらう。」

▽7人制ハンドボールについて (エミール・ホルル技術委員長の講義)

7人制ハンドボールでは、特に走ることが重要である。これに加えて、あらゆる意味での体力の養成が必要である。また選手同士のチームワークが必要なはいうまでもない。レフエリーが競技を運営する場合には、ハンドボールの競技精神をじゅうぶんに取り入れてルールを運用してほしい。その道具としての笛はこの競技精神に則って吹いてほしい。

▽審判技術の実技講習

7人制の試合をジョワンビル対ステラーで行ない、この試合の審判を各国受講者が担当する。レフエリー、ゴールジャッジの三人を一組として10分づつ笛を吹かせた。(若崎(第四試合のゴールジャッジを担当))

▽レフエリーに関する一般的注意 (エミール・ホルル技術委員長)

- (1) 審判の位置について
- (イ) サイドラインにあって動きプレーを邪魔しないこと。できるだけすべてのプレーヤーが見える位置に立つこと。
- (ロ) 常に体を動かしていること。足を動かさなくても、上半身のウイビングで見える位置になること。
- (ハ) 速攻の場合には邪魔をしな

い位置で、できるだけだけボールについて走る。

(2) 笛について

(イ) 笛は反則のあったとき一回はつきり吹くこと。

(ロ) 笛は手に持っているのがよい。国によってそれぞれ特徴があるが、口にくわえているのはよくない。口にくわえていると、プレーがおきた瞬間に笛を吹くことになる。これはあまりにも笛が多くなりすぎる。

▽競技規則の解説(7人制の第一条から第六条まで)

これまでの日本の解釈と変わる点はほとんどない。第五条ノ九、「キックの項」で明らかに意図して行なった場合のみに限る。たとえばころがっているボールを足で拾いあげることか、片手と片足でボールを拾うとか、ゴールに蹴り込むとかの場合である。

▽審判技術の実技講習

10人のレフエリが笛を吹き、20人がゴールジャッジを行なう。(若崎)第一試合のレフエリを担当、各国から好評を受けた)『19日』

▽エミール・ホルル技術委員長の批評

(1) 記録席を常に見ながら走ること。
(2) 笛はゴールインのときは二回、このほかは一回だけ吹くこと。

(3) ゴールインのさいは、よくゴールジャッジの指示を見てから笛を吹くこと。

(4) レフエリーの技術で問題になる点

(イ) いかにも動くか。(走りながらボールの近くにいて全体が見られ、ジャッジ、記録席が見える位置)

(ロ) 笛をいかに使うか。(手に持ち、ワンタイムミグ見てから笛を吹くこと。二重のアドバントージはとらない)

(ハ) ゼスチャーであるが、片手はフリースローの位置を示す。片手はボールの進行方向を示すだけでよい。早く位置を示し、ボールを持ってから笛を吹くこと。

▽競技規則の解説(第七条)第一七条まで)

(1) ラインクロスは、パスをしたあとでプレーに影響のない場合は反則としてとらない。

(2) 反スポーツマンシップの反則の場合は、一回でも残り時間全部ということもあり得る。

(3) キーパーの交代はハーフラインから行なう。コートでの不正交代はフリースロー。ゴールエリア内での不正交代は7メートルスロー。
▽11人制ハンドボールの映画
エミール・ホルル技術委員長製作による「フィールド・ハンドボ

ール」(16ミリ映画三巻)

(1) 体力 いろいろな球技を行なう。柔軟体操、クロスカンツリなど。

(2) 技術 F Wの技術、バックスの技術。

(3) 戦術 スイスの世界選手権のフィルムを公開

▽審判技術の実技講習

ジュワンピル対ステラーの混成軍によってフィールドハンドボールの紅白試合が六人のレフエリによって吹かれたが、全く熱の足りない講習であった。

『20日』

質議応答

各国から質問が出されたが、日本においてすでに研究されている事項で、特に新しい問題はなかった。

日本から次の事項について質問をした。

(1) フィールドプレーヤーがゴールエリア内でのドリブル。…答え「反則ではない」

(2) ゴールエリア内でキーパーが持っているボールを、エリア外からボールをはいた場合。…答え「反則ではない」

(3) バックコートでのフリースローのさいに、フロントコートのフリースローライン内にはいつてもよいか。…答え「反則である」

(4) 不正交代のさいはかならずベルを鳴らすのか。…答え「攻撃防御のいづれ側が行なってもベルを鳴らし、その選択はレフエリが行なう。しばらくプレーを見てから笛を吹く」

西独では国民のスポーツ

藤本 強

(東大O B)

パリの国立スポーツ研究所で行なわれた第13回ハンドボール国際審判講習会に出席したあと、トレーニング方法見学のためケルン郊外に1週間ほど滞在した。ラーデフォルムバルトという名のドイツ人でもほとんど知らない町にある

ウェストフアリア。ここの北ライン地方体育協会所属の合宿所に世話になった。この合宿所にいる間に二つの試合を見る事ができた。一つは土曜日の午後6時にスローオフされたグンメルバッハでの試合。もう



ドイツ合宿所にて
一つは日曜日の午前11時に始まったゾーリンゲンでの試合である。

数千の観衆に驚く

前者は1962年度のドイツ国内選手権チームをグンメルバッハに呼び、グンメルバッハチームがこれに対戦する試合である。ドイツハンドボール協会の多くの関係者が車を連ねてやって来た。両チームともドイツ国内での一流チーム。スタンドはなながしかの金を払った客でいっぱい。客は数千ものいようか。とにかく観衆が多いにまず驚かされた。ドイツは11人制の本家であり、シーズン中は夏。試合はもちろん11人前。



各国代表と

試合がはじまる。6時スローフというのも日本とくらべておもしろい。グンメルバッハチームはマンツーマン・ディフェンスをとっている。シュートされた場合、責任の所在が明らかなのでものごくきかないディフェンスをする。手に触れうる範囲にはいった攻撃側選手に対しては、突く、押す、引っぱるなどあらゆることをする。攻撃側も負けてはいない。さかんに手を使い応戦している。特にボールを持っているものと、それをマークしているものと、かいはすさまじい。片手は首に手をかけ、ひきずり倒してでもとめようとする。攻撃側は強引に手がかきわけ、押しとろうとする。レフエリーはよほどのことがないと笛を吹かない。このようなとき笛が鳴ると、観衆はフイールツェー

ンメーター(14メートルスロー)と叫ぶ。しかし14メートルスローはほとんど行なわれぬ。とにもかくにもシュートしてしまえばそれまで。全く荒い試合だ。それでも得点はほとんど増えていく。ゴールするたびに「トル(ゴール)、トル」とスタンドは騒ぐ。地元チームの得点の場合は大きな声、拍手が起る。足をかけて相手を倒したとき、14メートルスローが宣せられた。そのときの観衆はすごい。ほんとうに興奮している。「フイールツェンメーター」まさにこれは彼らにとってこの上もないことばなのであろう。

うまいブロックとシュート

レフエリーの判定に対してもずいぶんうるさい。地元チームであれ、相手チームであれ、自分に納得がいけないものすごい騒ぎだ。口笛をならし、大声で騒ぐ。

結局はグンメルバッハが敗れたが、目立ったのは攻撃側のブロックのたくみさと、シュート力である。フリースローラインのうしろの方からどんでん打つ。

6人攻撃、6人防衛は当然だが、ボジションチェンジはしばしば行なわれていた。攻撃するものは7-11の背番号のものだけでなく、いわゆるフォワードがうしろで守

っていて、バックが2人、3人攻めている場合がしばしば見られた。どのボジションでもこなせます」ということらしい。

翌日ゾーリンゲンで試合を見た。これもドイツ一流チームの対戦。緑の芝生に白いラインがあざやかである。スタンドにも座席があり、観衆でいっぱい。サッカーと共用か」と聞くと「ハンドボール専用」という。実にうらやましい。やはりスタープレイヤーがいるらしく、メンバーのアナウンスにヤンヤの拍手が起る。

試合はきのうと打って変わり、フェアなもの。選手もきたないこととはしない。レフエリーもピンピン反則をとっている。日本のレフエリーと全然変わらない。なんだかほっとした気持ちだ。ゾーリンゲンチームが勝ち、観衆は大喜び。ここでもブロックのたくみさ、シュートの強さが目についた。

きれいすぎる日本のプレー

きのうあまりに手を使ってきたくない試合を見て、全部が全部この調子では日本チームはさぞ面食らったろうと思っただが、このゾーリンゲンでの試合を見てほんとうにほっとした。

帰りに「これが普通の試合か」と聞くと「そうだ」と答える。「き

のう対戦した両チームはきたないのだ。レフエリーもきのうはうまいくない」との話。身びいきもあると思うが、この話は確かなようである。しかしあれだけ手を使う反則をそのままにしておく審判、しかも一流チームの対戦の笛を吹く審判にそのような審判がいること。それに応じて?選手が非常にきたないことを平気ですること。これらのことは今後ヨーロッパに出かけ、またヨーロッパチームを迎え試合する場合、じゅうぶん心にとめておかなければならない。パリその他の都市で「日本チームはプレーがきれいだ」ということで名を売っているということも付記しておこう。

老人もボールを握る

ドイツにおけるハンドボールはほんとうに国民のスポーツになっている。日本の野球の場合と同じだ。ホームラン、フライングプレーのとき日本人がやるのと同じことを、シュート、インターセプト、キーパーの好守の場合にやっている。ハンドボール場の周りに車が並び、売店も出ている。老いも若きも試合を楽しみ、機会があれば自分でプレーをしている。合宿所でそこに来合わせた教師たちともプレーすることが二回あったが、五十を過ぎたおじいさん、おばあさんが一生懸命プレーをして

いる。得点でもしようものなう大変な喜びようだ。ここではほんとうにハンドボールを楽しんでいる。

米国のハンドボール

××× 米国のハンドボール
××× 第4回北アメリカ
××× 室内選手権大会はさる
××× 5月、米国ニュージャ
××× シー州で行なわれた。参加チ
××× ームは米国、カナダから各4チ
××× ーム。試合は参加8チームを
××× A、Bのグループに分け、次いで
××× 同順位チームで順立決定戦を
××× 行なう方式をとった。決勝はノ
××× ートルダム・モントリオール
××× (カナダ)対SC・エリザベス・
××× ニュージャージー(米国)とな
××× り、ノートルダムが7-6(前半
××× 4-2)で勝ち、4年連続北
××× アメリカ選手権を獲得した。大
××× 会は年々成長しているが、これ
××× は1962に西独のフライブル
××× クチームが米国へ遠征した影響
××× が非常に大きい。優勝したノ
××× ートルダム・チームにはナシヨナ
××× ル・プレイヤーが6人もいる。
××× なお今大会で米国の女子チ
××× ム(2チーム)が初めて参加し
××× た。

欧州遠征から

すばらしい西独のダツシユ

うらやましい施設の充実

第一回世界学生選手権
全日本コマーチ

勝

繁

夫

(立大OB)

○：ドイツは実に美しい。そしてすばらしい国である。スイスのアルプス山中に源を発して、北海にそそぐ伝統と歴史の中にはくまれたラインの流れ。そのラインの谷間の静かな町々。ぶどう畑の平和な眺め。そしてロマンチックな古城。清潔で整った通り。赤煉瓦を白壁にくっきりと窓を浮き出させた家々。その窓辺に飾られた色とりどりの草花。そして地味な屋根を整理とならべて、雑木の茂みの中におたたずんでいる眺めはまるでおとぎの国のようなものである。

一にサッカー、二にハンドボール

0：186万の人口のハンブルグの一都市ですら、ハンドボールのクラブチームが40以上ある。ジュニアチームが250ほどあると聞かされて驚いた。だからどこであるかと、また年寄りや子供であろうと「ヤパン・ハンドバル・シユピラ」と言えば、即座に反応がある。やはり首をかしげるよりはうれし。そしてボールを投げ

い。町に建てられたしゃれた体育館も、実に経済的に合理的に設計されている。特に内部の設備が充実している。国の経済力においては日本より断然まさっているとは思えないのに、施設の面でこれだけの差があるのは伝統とか年数の差ばかりとは思えない。根本的なものの考え方によるのではないだろうか。

平素から基礎体力を

たぐましい胸を張って、いかにも規則正しい足どりで町往く人々は活気に満ちている。そして静かな落ち着いた町にも生気が感じられる。だが都会によって、まだ戦火の跡も生々しく残って私たちの心を痛めさせている。どの町からも再興ドイツの力強い足音が響いてくるような気がする。

○：仕事を終えてからくるのだから夜の8時から9時ごろ雪の降るなかをバッグ一つ下げて体育館に集まる。それをれびで汗流し、そしてクラブの食堂でビールを一杯ひっかけ帰って行く。日本の練習及び試合におけるあの悲壮感といふものは全然感じられない。これこそ心からハンドボールをたのしんでいる姿だ。

私たちににとっては全くうらやましい

日本チームは試合及び練習前後に軽い徒手体操を主とした準備体操をやるが、ドイツチームは全然

やらない。更衣室から出てそのまますぐゲーム開始。これには面食らった。これになれるまでには大変な日時がかかった。しかし私たちがみればふしぎに思える。それで「どうしてやらないのか」ときいてみたが「そんなことしたら疲れて、後半動きが鈍くなるだろう」という。もう少し突っ込んでききたかったが、どうやらうまく意味が理解してもらえないようだったのでやめた。また「いい選手というものはいつでも、ベストをつくせるだけのからだの調整ができていなければならない」とも言った。

○：レフエリーのジャッジに関しては日本と違って違いはなかったが、ただひとつアドバンテージ・ルールの解釈の問題が気になる。この微妙な解釈、適用範囲の違いで、オフフェンス、デフェンスにおけるプレーも大いに変わってくる。たとえばブッシングされながら相手プレイヤーは味方にパスした。この場合日本では一応笛を吹かないでパスが正しく行なわれたかを見とどけて、即ち相手側に渡ったか、もしくは渡ろうとした場合笛が吹かれている。シュートのときも同じである。そのシュートされたボールがゴールインしなかったときは笛を吹いて、フリスロ一なり7メートルスローを与えている。ドイツには全くこれと同じ場面でもパスなりシュートで来た場合、レフエリー側からいけばパスなりシュートまでさせた場合、その瞬間にアドバンテージの適用は消滅する。だから、そのパスが正しく味方に渡ろうと渡るときは、またそのシュートがゴールインしなくても関係ない。しかしもちろんそのブッシングなりの反則が継続することによって、パスなりシュートが不可能な場合はこれには当てはまらない。

ある学校の体育指導者は「日本チームのやるトレーニングは大いに興味がある」と関心を示していたことは事実である。彼らは平素の練習時に、じゅうぶんに基礎体力をつくるトレーニングを積んでいる。どこの体育館にも同じような数多くの器具が整っている。いったんトレーニングにはいれば、単なるベンチも一片の棒切れもたちまち器具と化してしまう。試合になるとプレイヤーは無表情になる。ただ黙々とプレーする。レフエリーのホイッスルのもとに、だが観察は目が肥えているからうるさい。チームの別なく、ファイインプレーには惜しげもなく万雷の拍手を送る。だがレフエリーのミスジャッジでもあろうものなら、口笛を吹いたりしてやんやと騒ぎたてる。

日本ではこのアドバンテージ・ルールの適用範囲が広すぎるというのだから。だからボールを保持している側に、すなわち攻撃側にあまりにも有利に解釈しすぎているという気がする。

アドバンテージの解釈

試合後の感想として二、三のプ

欧州遠征リポート

レーヤーに同じようなことをいわれた。それは「日本チームの選手はよく動く。しかしむだな動きが多い。そしてまたテンポが早すぎる」ということ。そういわれてみると、確かに日本チームはハツカねずみのように動き回り、走り回った割にはチャキスがつまめなかった。ドイツ選手のようにこのこというときの鏡いダッシュは、ぜひ学びたいことのひとつである。ドイツ人の性格そのままのむだな動きやパスは絶対にしてない。彼らのよく使うコーナーはいっぱいへのパス、一見むだなように見えるが、このパスは次のシュートチャンスをかならず生みだしている。インナーセプトしてから速攻に移るときのパス、たとえば中央ゴールエリアライン近くへ走る味方と、コーナーの近くへ走る味方があると、この場合カットされる危険度の高い中央の味方よりも、まずコーナーへ走る味方へパスする。相手バックスの体勢、タイミングをはずしてから中央へ返してシュートする攻撃はよく見られた。またシュートした後の攻撃の出足の速さ、キーパーとそのとび出した味方との呼吸のよさ。さらにフォワードとバックスとのコンビのすばらしさには舌をまいた。むだな動き、むだなパスがない。フォワード、バックス、キーパー7人の呼吸の合ったコンビがあったこそ、初めてスピード

独人があこがれる日本

感あふれた真のハンドボールのどいご味といえるのだろうか。
 ○：ドイツ人に会うと、日本の特に東京のことについて聞かれた。大部分の人は現在の日本の姿を正しく理解されていないのが残念であった。
 「東京の人口は一千万」といえば、彼らは「君0がひとつ違うのじゃないか」と聞き返す。「いや間違いない」といっても信じてくれない。そこには感嘆とあこがれのような顔つきがある。自分たちの街を何倍かに拡大した美しい大都會を想像している。私はその目つきをみると、日本の恥部を見られているようなはずかしい気持ちになった。街に人があふれたあの雑然としたきたない東京を思うと、なんとかして彼らに「これが日本の首都東京です」と胸を張って見せる街にしたいと思った。
 ○：話のついでに、スイス国境近くのバーデン・オースから汽車でライン河に沿って北上し、ケルンまで一人で旅したときのこと。この列車はナポリ始発でイタリア、スイスを通ってきた国際列車だった。この列車は二晩を過しているのだが、通路はもうろ座席の下にも紙くずひとつ落ちていないのは驚いた。ちょうど昼ごろになり、前と隣りにいた出かせぎふうの若いイタリア人がトランクをあけた。そして洗面器ぐらいの大ききままるいパンとワインを出して食

べ始めた。私はあの包み紙、パンくず、ビンの行くえを見守っていた。ところが元のトランクにしまいい込んで持ち帰ったのは感心した。なるほどこれじゃ何日経っても車内はよごれぬのも当然です。ドイツは一月近く滞在して感じたことは、彼らはまことに誇り高き人たちである。ドイツ人であることの誇りを秘めて、悠然とわが道を行っている。そして静かに落ち着いて、めいめいの生活をこよなくたのしんでいる。日本人の生活はいつもなにかに追いついて、ゆとりというものがなくて、経済的にゆとりがないからか。それともせまいところに多くの人間がひしめき合っているせいなのか。しかし親元を離れて親のありがた味がわかる。日本を離れてあらためて日本のよさがわかった。東京はきたないとは言いましたが、やはり東京はいちばん住みよいし、世界一すばらしい都会だと申し上げた。五年前ドイツチームが来日したとき、ある選手は口をそろえて「日本遠征は夢のような旅であった」と言っていた。日本は確かに夢のようにすばらしい国である。私たちはドイツ国内のあらゆる場所(街頭、電車の中、ホテル)で数かぎりない多くのドイツ人の心からの親切を受け、感謝の気持ちもろろんむしろ申しわけないという気持ちでいっぱいです。この次に日本に外国チームを迎えたいを続けてもらえらるるに願ひ、同時にそう努力したい。

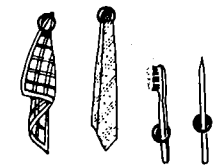
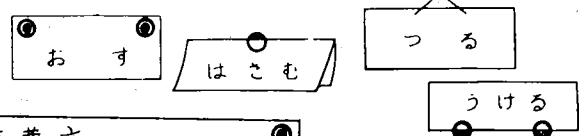
世界の画鉄



東京オリンピック選手強化募金協賛
 お礼とお願ひ

御協力、御礼出、有難うございました。
 本品の利益の一部が1年後に迫った東京オリンピックに出場予定の、日本代表選手候補や強化選手の強化費にあてられます。立派なスポーツマンが育てられ、日の丸が東京の秋空に一本でも多く掲げられるように願ひている私達の気持ちを、お友達や関係の方々へ吹聴いただいたら、本事業にたいよいよ御協力下さいませようお願ひ致します
 財団法人 日本体育協会

使用方法



推薦文 宮田孝雄
 画鉄というもの、どの時にいつも苦勞する。それがこの「ムネカタ」の出現によつて完全に解決した。何でもない機だが、使ってみて大した発明だともう、度右に括いて採用している。
 miyata

このような長さをそなえるロケットピンは使いだしたらやめられないほど便利で
 扇形用..... 利用範囲が広く 会社、学校 で安心して御愛用ねがえます
 扇形用..... 工場、御家庭
 扇形用.....

製造発売元 株式会社 宗形製作所
 本社 大阪府高槻市辻子241
 電話 代表 高槻 1191
 5051・5052
 守口工場 大阪府守口市高瀬町5の35
 電話 (992) 0731-6



専任登録208550
 注意 特許庁一登録商品につき類似品の製造、販売は出来ません。
 (特許許可図一英、仏、伊・特許出願中一米、独)



立大 (男子)
大津 (女子)

が初優勝

大崎電気の2連覇ならず

立大、大崎・全日体を連破……男子

▽一回戦

大崎電気 (東京)	乗	権	安積 (福島)
法大 (東京)	乗	権	甲南 (兵庫)
京都 (京都)	24	1113	139
芝浦工大 (東京)	28	1315	112
新三菱重工 (愛知)	27	1512	913
法友 (東京)	21	138	711
日野自動車 (静岡)	19	910	85
車 (静岡)	19	910	85
本田技研 (三重)	30	1515	102
清商 (静岡)	16	106	77
住友化学 (愛媛)	25	1015	910

明石高 (兵庫) 19
明 (東京) 14
柏 (新潟) 12
山口 (山口) 13
新潟教員 (新潟) 18
広島商大 (広島) 22
東北学院 (宮城) 8
大 (宮城) 22
教 (東京) 22
甲南 (兵庫) 22

▽準々決勝

大崎電気	22	1111	65	明星
立大	19	127	46	京都
芝浦工大	25	1312	26	法
全日体大	23	176	53	清商

○…各試合とも予想どおりの結果

今季の芝浦工大は攻撃に変化がない。この日もすっかりサイド攻撃と忘れ、やたらに中央へ強引な突進をみるばかり。前半で勝負が決まってしまった。好カードも期待はずれの凡戦に終わった。

▽決勝戦

立大	18	610	106
全日体大	17	02	11

○…試合は立ち上がりからすさま

時間の経過とともに、立大のゴール前の激しい動きは、全日体大のデフェンスを切りくずし、安達が得意のミドル・シュートを力いっぱい投げ込んだ。4点をリードされた全日体大は、後半立大の安達とチャンスメーカーの中根をマークした。この二人の攻撃を封じたのは当然の策だ。立大の追加点をばんでおいて、全日体は北山、小林のカットインなどでしたいその差をつめた。このあたり、

屋外シーズンのメインイベント、第15回全日本総合選手権大会は8月21日から5日間、新潟県柏崎市に全国の代表男子32、女子22チームが参加して開かれた。

男子は今季絶好調の立大(学連・東京)が強豪を連破、女子は常勝愛知紡が準決勝で敗れる波乱があったが、結局大洋デパート(熊本)が勝ち、それぞれ初優勝した。なお、男子は初めて7人制で行なわれた。

▽二回戦

大崎電気	31	1714	118	静岡日野
芝浦工大	45	2421	35	本田技研
法大	25	1213	87	中
明星	30	1713	118	全岐阜
清商	22	1210	107	重
京都	21	1011	106	法友
全日体大	29	1613	45	小倉
立大	25	178	52	菊

水見 (富山) 17
柏崎 (新潟) 12
桜丘 (愛知) 19
春日丘 (大阪) 10
山口教員 (山口) 12
桃山学院 (大阪) 10

に終わった。京都が立大に、清商が全日体大に前半大いに善戦したのはほめてよい。後半スピードが落ちて大差とはなったものの、クラブチームの現状を考えれば両チームの活躍はありつぱ。

▽準決勝

立大	15	713	11	大崎電気
前大半崎	8	8	8	大崎電気

じい攻撃戦となった。

得点	4	4	6	2	4	0	0	3	0
反	16	8	2	5	1	0	0	2	0
S	6	14	2	1	0	0	0	2	0
得	1	2	4	1	0	0	3	0	0
反	1	2	4	1	1	0	0	3	0
得	1	2	4	1	1	0	0	3	0
反	1	2	4	1	1	0	0	3	0
得	1	2	4	1	1	0	0	3	0
反	1	2	4	1	1	0	0	3	0
得	1	2	4	1	1	0	0	3	0

【立大】安中 江田 斎高 松西
【大津】達根 名村 藤保 本村 久高
【明星】木山 原上 林井 田崎 橋
【日保】久青 北 藤井 小沢 沢 沢 高
【清商】久青 北 藤井 小沢 沢 沢 高

ゴールキーパー: 尾形 000

131755 2 = 7 421823

いかにも試合上手な全日体大らしい攻防だ。

結果論になるが、前半全日体大がこの戦法をとらなかつたのはまづかつた。今季の立大は東西の強豪を「力」でなぎ倒してきただけに、全日体大があえて正面からぶつかったのは疑問を残す。ともあれ、後半16―15といちどは逆転に成功した全日体も28分16―16と同等にされて延長戦。

○：延長になると立大は再び鋭い攻撃をみせた。延長前半2分に江名が中央をうまく割ってシュート貴重な勝ち越し点をあげた。さらに4分、再び江名が右サイドから好シュートして18―16とした。延長後半全日体大は反撃をみせ、1分小林のゲットで18―17としその後、期待を残した。立大は守りを固めて全日体大に攻撃の糸口を与えず、マイボールになると巧妙にボールを回してついに逃げ切った。全日体大は「前半の4点差」に泣いたわけだ。

○：立大は第4回大会(昭27・駒沢)のときをOBまじえたセントポール・クとして一度優勝している。ことしにはいって関東学生、全日本学生に続き三つ目の優勝。2大全国タイトルをとったことになる。なお学生の現役チームが優勝したのは二年ぶり。

愛知紡、七連勝を逸す……女子

▽一回戦

栃木女高	5	(14-11)	2	徳山口
東京重機	10	(5-5)	7	梅花
水海道	10	(6-4)	8	京都
高(茨城)	10	(4-4)	8	全中
レナウン	23	(16-11)	1	愛知
(大阪)	8	(16-11)	1	高岡女高
清水女高	11	(7-1)	3	(富山)
(静岡)	11	(7-1)	3	西峰
徳(山口)	11	(4-1)	3	(茨城)

▽二回戦

愛知紡	8	(4-1)	7	栃木女高
(愛知)	4	(4-5)	7	レナウン
大崎電氣	12	(7-1)	7	大阪(大)
(東京)	5	(7-1)	7	巻
東京重機	22	(13-9)	2	(新潟)高
清水女高	14	(6-1)	3	全(新潟)
田村紡	15	(9-1)	3	日体大
(三重)	9	(9-1)	3	(東京)
常盤高	6	(4-1)	5	日女体短
(新潟)	2	(4-1)	5	大(東京)
大洋デパ	8	(6-1)	7	徳山口
本(熊)	2	(6-1)	7	徳山口
レナウン	18	(10-8)	9	水海道二
東京(東)	10	(8-1)	9	高

▽準々決勝

愛知紡	9	(3-1)	3	東京重機
レナウン	7	(4-1)	4	田村紡
東京	7	(4-1)	4	田村紡
大崎電氣	22	(13-9)	5	清水女高

大洋デパ 19 (109-11) 1 常盤高
レナウン 8 (35-12) 6 愛知紡

大番狂わせだった。この大会で六年間土つかずの愛知紡が遂に敗れた。レナウンの攻撃は鋭かった。氣勢に押されて愛知紡はデフェンスラインがさがり、むりな防戦をしては7メートルスローをとられて失点を重ねた。しかも愛知紡自身は7メートルスローを2本も落とすとは、自ら敗戦の道を選んだようなものである。後半奮起して追いあげたものの、前半の7メートルスローの失敗を取り戻せなかつた。レナウンは愛知紡にたいする研究もじゅうぶんで、シュート力、脚力とも完全に愛知紡を圧していた。この大会で常勝を続けて愛知紡を破るものは？ という興味をなす遂げたのが、大崎でもなく、大洋でもなかつたことに大きな意義があった。レナウンの氣力をほめたい。

愛知紡は第9回大会(昭32)に初出場、一回戦で有磯高(富山)を7―2で破っていらし、前日まで22戦全勝という全日本の女王として君臨していた「愛知紡」の名も「レナウン」の名も球史に残ることだろう。

なおこの試合、前半は屋外(柏崎市宮陸上競技場)、後半は降雨のため室内(柏崎高体育館)に変更となった。

愛知紡の敗れる試合を見ていた両チームは、最初からエキサイトし好ゲームとなった。

1点をリードされた大洋は後半守りを固める一方、強引な攻撃をしかけた試合ぶりで慎重なローリングオフフェンスをみせた。この作戦は成功した。大崎の守りが西村に集まりすぎるところを久連松、それに新人高山がよく働いて劣勢をはね返した。大崎としては後半2点だけというまずい攻撃が痛かった。大洋の西村、久連松、千原、徳永といったベテランにやられたといっているだろう。

大洋デパ 7 (4-1) 5 レナウン
○：大洋は全日本実業団(二月)で苦戦している相手だけにじっくり攻め、そして守った。一方のレナウンは愛知紡を破って意気大いになつたが、やはり初めての決勝進出とあつて堅くなつた。この「経験」の差がスコアになつて、

得点	0554453223	22727
S	003115532100	
反	3013011500200000	

○：一進一退を続けたあと、前半18分大洋は久連松のシュートで3―2とリード。この1点は貴重な点だった。

後半にはいると大洋は相手の拙攻に乗じてたくみに得点機をつかみ、5分間に西村、高山、久連松が連続ゲット、6―2と開いて試合の主導権を握つた。このあと大洋の攻撃が中断してしまつたのにたいし、レナウンの攻撃にはようやくエンジンがかかつた。その猛烈な追い込みは16分に6―5と1点差にせまり、決勝戦らしい白熱した攻防となつた。

追撃の中心となつたのは太田、竹本の二人だが、この後半10分間にみせたレナウンの攻撃は実にあざやかだった。しかしレナウンはあせりからか、チャンスをラインクロスやオーバーステップなどで逸した。逆にタイムアップ寸前にゴール前の反則から久連松に得点を許してしまつた。○：○宿願を果たした大洋は接戦のすえの勝利だけに、試合後の感激もひとしおだった。昨年あたりには比べて攻撃が多彩になり、久連松に安定さが出てきたのが大きい。いづもながら沈着な判断と氣力のある防衛をみせにGK木原のプレーも賞される。新人高山(菊池農蚕高)がベテランにまじってチャンスに好シュートを放つて得点をあげていたのも勝因の一つである。

第15回大会は誕生まもない新潟県協会の努力と、県市の絶大な後援により初期の目的を達成してその幕を閉じることができた。全体を通じて合格点をつけるにやぶさかではない。むしろ運営に当たった地元の諸兄には感謝の念でいっぱいです。にもかかわらず最後には、なかにひっかかるものがあるのはどうしたか。

か。それは二つのチーム(安積クラブ、甲南大)が棄権したことがある。そもそも

予選または推薦による出場権を獲得し、かつ自らの手で申し込み書を作製しながら組み合わせ発表後に棄権するとはどうしたのだろうか。これらチームの責任者は推薦にもれ、不幸にして予選を通過しなかつた多くのチームが、いかにこの大会への参加を熱望しているかを知っているのだろうか。次回より再びこのようなことが繰り返されてはならない。出場権を得た32チームは万全の準備をして大会に出場し、堂々と技をきそことが、この競技を愛する幾万の同士



総評

力の差がなくなった上位

高嶋 冽

に対する責任、義務であることを忘れてはならない。○施設について 全体を通じてよくまとまり、申しぶんないでできていた。しいて難点をあげるならば、海岸公園コートがやや軟弱なきらいがあった。これもコートを極力至近距離に集中しようとして、多大な費用

を投じて埋め立て工事を促進したことを考える。陸上競技場の使用については、今後既設スタンドの利用を考えるべきであろう。この競技は近くで見てもスピード感があふれ、スリルに富むものである。▽運営について 月橋市事務局長、渡辺県協理

事長の指導のもとに県協会役員と市職員が一体となって運営に当たったことに対して、深く敬意を表するものである。またハンドボールの陰の苦勞や、ハンドボール少年団のエキシビションゲームなど歴史の一ページを飾るものと考えてよからう。▽競技について (女子)


大方の予想を裏切って、大洋デパート(熊本)が初優勝をなしとげ、栄えの優勝杯は初めて関門海映を渡った。これはひとり大洋ばかりでなく、球界にとり大きな意味を持つものである。上位数チームはほとんど力の差がなく、一日たりとも精進、努力を怠るることができなくなった。このなかにあつてレナウン工業東京東京重機工業の躍進は特筆大書に値する。組み合わせに恵まれたといえ、誕生いまだ一歳に満たない東京重機が準決勝まで駒を進めた。これは将来の限りなき可能性を見出すのは、ひとり筆者はかりではあるまい。またレナウン東京は常勝の愛知紡に対して奇策をろうせず、正面から堂々と四つに組んでこれを破った。期待に反し精彩を欠いたのが愛知紡績、大崎電気であった。敗因はいろいろ検討し尽くされているであろうが、両者に共通して言える欠陥はチャンスに共通して言える欠陥はチャンスにある。相手デフュンスの沈んだとき、あるいは一瞬のすきを

ついて放たれるロングシュートはハンドボールのロングシュートは鉄則である。ロングシュートに忘れてチームは、歌を忘れたカナリヤよりもみじめである。(男子) 予想どおり実業団の大崎電気、クラブチームの全日体大、大学単

独の立大、芝浦工大の4強が準決勝に進出した。前年度優勝の大崎電気をくだした立大が初優勝した。現役学生のみによる大学チームとして芝浦工大の三連勝について四度目である。立大は春のリーグ戦、初夏の全日本学生選手権当時と比べ一段と円熟味を加え、終始自己のペースをくずすことなくゴールインした。秋から冬にかけての躍進がたのしみである。

前年の覇者大崎電気は立大の前に実にあえなく敗れ去った。あれだけのベテランをそろえてきてたデフュンス・オブ・ペーシングが敗因がひそんでいような感じをうけた。また立大に決勝で敗れた全日体大。全日体大に負けた芝浦工大はともによく走る技術を見せられた。しかしながらもう一步のところで刀折れ矢尽きた感じであった。

7人制一本化後における初の大会であったが、各チームとも総じて研究努力の跡がうかがえたのはよろこばしいことである。以上あげたチーム以外にも、女子で田村紡績、男子で住友化学、本田技研、新三菱重工、静岡日野自動車などが将来へのたのしみを与えてくれた。しかし、あえて苦言を呈するならば、これらのチームは小さくまとまりすぎたようである。特に田村紡績はせっかくよい素質を持ちながら、むだなくローリングプレーで自滅した。上にもかく今回の大会の特徴は、技術の向上を意味するものであり、お互いが切磋琢磨して、より大きな目標に向かって前進しようではないか。大きな目標とは、い



日本ハンドボール協会公認球

シムレス

ボール

ELEVEN号

ご用命は、もよりの
運動具店へ

夕チカラ株式会社

(271) 3318~9. (841) 6868

7人制になって九カ月

7人制に切り替わって九カ月たった。その間各チームは連日7人制をマスターするために努力を続けてきた。そこで7人制でインターハイ初優勝の桜台高の稲石監督、それに実業団N.O.Iの大崎電気(男子)の今野監督に「7人制の問題点、苦勞した点」についていろいろと書いてみた。

初の7人制インターハイに優勝して

二 三 石 稲 監督 高 台 桜

昨年の第17回国体会場で共同通信社の鷲尾記者、神代高の佐野先生から「三十八年度から全面的に7人制になる」との話しを聞いたとき、11人制で育ってきた私には少なからず不安があった。

過去の国際試合の内容など考えてみたとき、日本もこれで外人と対等にやれるようになるのは十年遠のいたような感に打たれた。しかし反面スリリングな試合が多く展開され、ハンドボール競技を大衆に訴えるのはたやすくなくなったのは事実である。いままでの競技は守備、攻撃に分けた練習で、興味よりも鍛錬的な練習であっ

た。選手は練習よりも試合に競技的なよさを見い出そうとしていた。しかし広大な場所を有することはむずかしく、公式戦でその興味をつないでいたのが現状であった。

しかし今日では安易に行なわれ、硬軟二様の練習形式をもつようになつた。愛知県でも7人制になつてから十余のチーム増加をみた。この切り替えは成功であったといえる。したがって練習法もインターバル走法に変え、いままでも以上の基礎の充実。加うるに反射神経の練磨とシュート力の養成に つとめ、体力的な差の特性を生かしてチームをまとめた。まずデフェンスを強くすることを急務と考えた。全国大会に参加して東住吉、寝屋川、伏見工、明星、徳山高などの巨人ぞろいには驚き、先に心配したこともむだではあるのに気づいた。数年後には外人と対等にやれること間違いない。しかし走力、投力に未完成のため、中途で消えていったのは寂しい。あのような巨人たちがタイトルをとるようになれば、日本ハンドボール界も万々歳といわねばならない。準決勝、決勝は前半なかば

6-2にはとリードされ薄水を踏む思いをしながら優勝した。準決勝、決勝とも最後には体力、気力尽き果てた選手の様子はまだ脳裏にきざみ込まれている。六日間を勝ち抜くことは大変でした。昭和33年から36年の間中京商に完敗。また35年、36年決勝で1点差に泣いた。このときはこの1点が磐石の重みで頭上へのしかかっていたことか。勝負には勝運、実力、指導者といわれるが、常にリードを守りながら最後の5分に泣いたものである。実に苦しい年でした。昨年度の勝利はともかくとして、7人制に大会で初優勝した選手に

心から「おめでとう」といってやりたい。苦しみにあたえ抜いて今日あることを念じ、ひたすら練習を続けてきた涙と汗の体験なくしてはこの感激も薄かろう。30年ごろはこんな感激はなかったものだ。『栄冠涙あり』感慨をこめて心の中で静かにかみしめてもなお味のある言葉である。長い年月には浮沈は世の常。たゆまぬ努力を重ね、日本ハンドボール界のために努めたいと思ふ。さて技術的にはどうであったか。大それたことを申しあげようですが、技術的には紙一重。伏見工、明星のダイナミックなプレー、寝屋川の高校ばなれのしたポストプレー、実によく練磨されていた。しかしポイントが二、三人にしばられていたのは惜しまれる。サイド攻撃が少なかったように思うが、しかし中京商と並び技術的には本校をしのいでいたようだ。技術、スピードの

就任のあいさつ



より広い大衆の理解を

福岡県協会長

岡野正実

スポーツについてはなんでも興味をもっていますが、現在お世話をしているものは地元のリフレクラブぐらいなものでした。ところがこんど福岡県協会の会長という大任を命ぜられて、いまさらながらその責任の重大なことを痛感しています。実は私は全くのしろうとです。みなさんのお世話などするからではありませんが、諸先輩のご支援とご協力により球界の発展のためとめたい念願であります。

日本におけるハンドボールの発展の道程をたどり、かつその現況を知るとき、ハンドボール

界今後の発展はいかにあるべきか、またそのために私どもはいかにとむべきかはなかなかむずかしい問題であろうと思ひます。

ハンドボールの発展のためには、なによりもより広い範囲の大衆の理解が必要であらうと思ひます。そのためには青少年の諸君に普及させ、幅広い認識の層をつくりだすことであります。そうして学校はもちろん、実業団の積極的な活動によって発展をはかるべきであると考えます。この点では特に東京都協会の渡辺会長のご努力には敬服のほかりません。わが福岡県は西日本におけるスポーツの中心県として自他ともに許す立場にあります。ハンドボールも他県に比し、やや積極的な状況にあります。しかしながらまだまだ発展の余地を多分に残していると思ひます。私どもは近隣の各協会と協力して、より広範な地域での発展を期するとともに国内はもちろん国際的連係への度合いを深めて行くべきであります。このたびの韓国高校チームの来訪もこの意味で非常に意義がある次第です。私はハンドボールの発展のためにつくすことを重ねてお誓いする次第であります。

筆頭は中京商である。準決勝で東京に敗れた徳山もまた7番の使いすぎで自滅したのは惜しい。論ずるまでもなく7人制の前途は各チームの実力の接近、スピード、スリルと相まって得点力の増加はますます隆盛の一途をたどること間違いなしである。しかしここで問題は選手健康管理については監督、大会役員ともにじゅうぶんに注意して傷害、事故がないようにしたい。

攻守両面の選手養成 オーソドックスに

今野邦彦
気監督
電監
崎男子
大男

選手は一試合をおして走る体力を身につけなければならぬ。そこで4月から約1カ月間は耐力、基礎的に重点を置いた。

それにはまず1日の日程はロードワークを各自のペースで行ない、約7,000—8,000メートルを毎日走る。さらに柔軟体操、ボールの勘を忘れないようにキックボールを行なった。トレーニングは11人制と変わっていない。勤務の関係で小人数での練習が多く、今後の実業団の苦しさ

この点にあるのではなからうか。6月にはいりチームプレーを目標にした練習にはいった。いままでは各自が自分のプレーを磨くことに専念したので、基礎的な面はでき上がっていると判断した。11人制と変わりなく、準備体操、走力のスピード制、投力、ジャンプというように形式的に練習を一日の目録として行なった。具体的の内容を説明すると、走力は相手のシュートと同時に相手側のゴールに向かつて走る力が主である。投力はゴールエリアのあらゆるところから、どのような体勢からもゴールに向かつて投げることを練習した。それには前方にデフェンスの人を立たせることもあった。またゴールキーパーを二人立たせることもあった。さらにエリアの内にとび込むこともあった。したがっていままでのべたことは11人制とほぼ同じことです。私たちのチームのように小柄な選手が多いチームは、自然とダイナミックなプレーは姿を消さなければいけない。これは7人制にとつては弱点と知りつつ、そのように持つていかなければならなかった。7人制にはダイナミックなプレーがあつて初めておもしろみがある。それでわれわれのチームのように小柄な選手はポストプレーを有効に使うことが進む道と思つた。デフェンスであるが、11人制のデフェンス専門の選手は近いうちに消えると思われ。そこでオフフェンスの選手がデフェンスもできるようにその点に重点を置いて練習し

た。そうしてオフフェンスとデフェンスを合わせたプレーができる選手を作らうと思つた。だがこの二カ月の間では不可能であつた。それと同時にデフェンスとゴールキーパーのコンビネーションが大切になってきた。たとえば思い切つてゴールキーパーがとび出ることのできる状態に瞬間的に出ること。それは右側から右側にいるデフェンスの一人がゴールキーパーの役目をして防ぐこと。そうするとゴールキーパーは左側を防御すればいい。八月までそのような方針で進んだ。全日本大会の二週間前において練習は試合形式に変わった。二月から八月までの間に実戦の経験がないため、実戦的な戦の敗戦につながつた。こんごの方針として実戦的に練習を持つて行くことが大切である。いままでの一、耐久力は年間を通して行くこと。
二、オーソドックスなプレーを各自が身につけること。それに小さいプレーを織り込むこと。
三、デフェンス、オフフェンスをできるよりにすること。
四、実戦的な勘を失なわぬこと。
それで私たちのチームは実業団なので、二月から八月の間まで試合がないので自然に実戦的な勘が遠くなって行く。その点をじゅうぶん気をつけなければいけない。それからあまりオーソドックスになると、ハンドボールが長年追求してきたスピード感というものが失われる。こんご私たちが新しい時代の波に押し流されたいように、新しい分野を切り開いて行きたい。

ポストプレーが 勝敗を決す

光純安 監督
犬法

▽：25年にわたる11人制の歴史にピリオドを打って7人制一本になった。そして9カ月を経過した。7人制への切り替えの大きなねらいの一つには、日本のハンドボールが世界のレベルに一日も早く到達することにある。はたして本来の7人制ハンドボールの技術、戦術、試合運びが順調な発展をしているであろうか。わずか9カ月でこれを論ずることは適当ではないかもしれない。本年度のスケジュールの大半を消化した。全日本学生、全国高校、全日本総合、団体などの大会を終わつたところで、いままでの大会を反省しあすへのかたとする必要がある。
▽：7人制の生命は、スピードとスリルの連続であるという点は周知のとおりである。この点はどつていど受け入れられているであろうか。確かに相手のボールをカットしてからの速攻には、非常にスピードのあるプレーが見られる。しかし相手セットを組んでからの攻撃は、上位進出のチームを除いては必ずしもスピード感の

あふれたプレーが展開されているとはいえない。早い正確なパスと敏捷な動きが、さらに要求されるべきであろう。
ほとんど全部のチームが攻撃の手段としてポストプレーを用いている。そしてこのポストプレーの巧拙が勝敗を決する大きな分岐点になっている。せっかくポストにはいったボールが、なんらなすところなくもとに戻される。またむりなパスをするために相手にカットされ、反撃の糸口を与える場面がしばしば見られた。
また11人制の名残りと思われるようなドリブルを使つての突っ込みや、シュートがかなり行なわれている。ボールが出てからシュートにいたるまでの運びが、単純なためにシュートの成功率が低いチームが多い。ボールを持つたらすばやく正確なパス、ワークと動きによって、相手のマークをはずしてシュートのチャンスを作るようにディフェンスについで、4—2、あるいは5—1のシステムが多のチームに用いられている。概して研究不足の点が多く見られる。ゴールキーパーの防御の位置、およびその防御方法についても、さらに研究しなければならぬ点が多い。
▽：全日本学生、全日本総合の二大タイトルを獲得した立大は、これらの点についてより研究され、練習されたチームであるといふことがいえる。立大の試合運びは多少の異論があるにしても、その大きなパスワーク、サイドまで拡大された攻撃は他のチームに一步抜き出たものがあつた。

▽：IOC総会でハンドボールがまた除外された。除外するスポーツの表決で1位が柔道の37票、ハンドボールは33票だった。同僚の柔道担当記者は「柔道は37票でハンドボールよりも悪いとは情けない。パレーボールには負けてもいいが、ハンドボールだけは勝ちたかった」と暗い表情。私は言った。「ハンドボールはヨーロッパが本場だよ。次期オリンピックがリヨン(フランス)だったら開催種目になっていったところだ。ハンドボールはベルリン・オリンピック大会でオープン競技として公開された歴史があるんだ。柔道とは比較にならないよ。柔道より評判のいいハンドボールの話。」

▽：東京都協会の渡辺和美氏(大崎電気社長)は「東京都協会の建て直しの手始めにして、定例理事会の欠席をきびしく取り締まることにした。」連続三回欠席の場合は理事の資格をはく奪する。……つまり肩書きだけあっても、実際に協会の運営にタッチしない役員は無用であるというもの。やる気のある人たちで再建しようというのが渡辺会長のねらい。おかげで社長室で開く理事会は毎回出席率がいいとか、東京都協会がしつかりしないと、ハンドボールの組織は弱くなる。会長を引き受けた以上はトントンまでやる。日本協会の力をさらに大

柔道を追い抜いた

楽書帖

第17回

鴛尾武治

大きく強くするためには下部組織の伸張がカギである。日本協会の年間予算もあつていどではなにもできない。下部組織がしつかりしないとどうにもならぬ」ともすこしい意気込み。

▽：少し古い話(といってもこととしては)だが、NHKテレビ「私の秘密」のゲストにヒマラヤのホワイト・ピークに登頂した人が出た。この人の秘密をめぐって解答者との間にやりとりがあった。そのなかでゲストの人が「スポーツですが、オリンピック種目ではない」と言ったら、解答者の渡辺紳一郎さんがすかさず「それはハンドボールですか」と答えた。これをきいた私は実のところろびくりした。渡辺紳一郎さんがハンドボールを知っていたのに敬服した。渡辺さんはわれわれ新聞記者の大先輩である。普通の人ならハンドボールまで思い出さない。渡辺さんがハンドボールという競技が日本にあることを知っていたことは、ハンドボールがマイナースポーツでないことを証明したようなもの。もっとも式場会長が以前に新潟県で行なわれたこの「私の秘密」に解答者として出席した影響かもしれない。いずれにせよNHKテレビの電波を通じて「ハンドボール」という言葉が聴視者の耳に達したことは事実である。その夜はうれしくなつてビールで乾杯した。

時評

▽：日本のハンドボール界が待ちあぐんでいた「オリンピック種目の採用」が十月のIOC総会(西ドイッのバーデン・バーデン)でまたも除外されてしまった。見送りの三振である。高嶋理事長が昨年ヨーロッパに遠征したとき、国際ハンドボール連盟、フランスハンドボール協会、フランスにこのことを打診してきた。「ソ連がリヨン開催に協力してくれることになっている。そうなればハンドボールは有望です」との返事をきいていたわけ。少しは望みをかけていたわけ。ラテンアメリカでのオリンピックは初めて、これではハンドボールのはいる余地はない。新聞報道によると表決、つまり不要なスポーツには「×」をつける方式。柔道が37でいちばん先にオミットされ、パレーボールは25票とか。ハンドボールは二番目で33票と外電は伝えている。柔道よりもよかつたことは、せめてもの慰めである。

▽：来年三月プラハの世界7人制選手権大会に日本が二度目の参加を決めた。オリンピック参加の望みが断ち切られた現在、この大会で大いにあばれ回ってきてほしい。協会ではこの参加を決めた直後から選手選考委員会を設けた。これは各種の全日本大会の優秀プレーヤーを二十

プラハ大会で大暴れ

名門慶大よ！ がんばれ

人ほどビビックアップし、あらゆる角度から検討し、採点している。協会が世界選手権に本腰を入れた証拠だ。この資料を参考にして全日本チームを編成するわけだが、なにしろ貧乏世帯の協会のこと。全日本選手団全部の旅費を負担するわけにはいかない。優秀選手のなから自費を捻出できるものに限定されてしまふ。

これは仕方ないこと。協会自体が裕福なら別段問題はないのだが。頭の痛い話である。海外遠征の費用があれば「片寄った編成だ」といわれなくてもすむものを。

▽：慶大は春の関東リーグで最下位となり二部に転落した。それで夏に鍛えようというわけ。7月19日から約1週間、東京大阪間徒歩による踏破を試み、途中各地のクラブチームなどと試合を行う「荒行」をやった。慶大といえど国内最古の部歴を誇る名門、精神的な建て直しをはかるところらしい。きくところによると徒歩計画は大会前からあったとか。となれば慶大は始めから全日本学生で勝ち抜こうという気がなかつたことになろう。最近の学生の大会は星勲定に激々としていて。最大目標の「優勝」を始めから望まず、リーグ戦なども一部の学校だけが優勝を望んでいる。とうてい歯が立たないと思うと一部に残る星勲定ばかり気になる。慶大の場合などそのよい例ではなからうか。学生界全般に、精神的なゆるみが感じられるのは残念なことである。

もの増強ももちろん必要であるが、むしろいかにダッシュに移るか一言いかえればスタートをトレーニングするのが良いと思われ。スタートダッシュの重要性はますます言うまでもない。いまかりに10メートルを12秒で走る選手Aと13秒かかる選手Bとをくらべてみれば、明らかにAの方がBよりも速い。しかし、同時にスタートしたとしてもゴールでの差はわずかに1メートルにたらない。ハンドボールにおけるダッシュは前述のように20メートルないし30メートルであるから、その差

はいよいよちぢまりももちろんその差が大切でもあり、速い方がおそいのにくらべて有利なことはいうまでもない。スタートダッシュの早い方がより有利になる。前記のA、B二選手の走力で30メートルのダッシュに要する時間はそれぞれA：3秒6、B：3秒9でその差は0秒3である。従ってBがAより早くボールに触れるためには、スタートをする時間を0秒4早くすれば一瞬の差でせり勝つことが可能である。同一の走力を持っていたならば、0秒1でも早くスタートすれば、しゅうぶんであ

るともいえよう。ボールゲームではスタートダッシュを早くすることは、いわゆる「勘」といわれるものに左右される。トレーニングの面から考えれば、瞬発力を強めるのが必要と考えられる。力がある状態から要求されるに必要な全力を発揮するまでに要する時間が短ければ短かいほどスタートが早くなる。強い筋力を持っていてもその筋力を発揮するまでの時間が長いということは、ボールゲームでは役に立たない筋力となって

り0秒1早くスタートすることは決してやさしいことではない。これをカバーするためにはスピードが0からスタートするよりも、スタートの際に少しスピードがある状態であることが必要になってくる。そしてそのスピードが相手より少し優つていればしゅうぶんである。ゲームの分析においても、走り回りの動作はその大部分がフットワークである。走り回るから行なわれていることは、スピードのある状態でのスタートダッシュを表現しているといつてよい。走の持久性を高めるためにはイン

ンターバルトレーニングが有効である。インターバルトレーニングには目的によっていろいろなやり方があるが、この場合はスピードの持久性を高めるようなインターバルトレーニングと考へていた(きたい)。インターバルトレーニングの方法は、陸上競技の短距離におけるトレイニング方法がよい。しかしハンドボールの走におけるインターバルトレーニングでは、ハンドボールの特殊性を考慮して実施する必要がある。すなわちインターバル中の動作については、この動作について研究し、より実戦的な方法を見出すようにする効果が大になる。さらに基礎体力的な持久性を高めるためには、サーキットトレーニングが有効である。サーキットトレーニングにおいては、選手個人、チームの状況に応じて、誤りないスケジュールを組まねばならない。前号でも述べたが、あくまでもボールゲームであるからボール

話題のム

岡野バルブの巻

▽：「岡野バルブってどこのチームだい」——よくこんなことをきかれる。「門司にある。正確にいえば北九州市門司区さ。門司駅から徒歩2分」と説明する。門司駅からタクシーに乗り、「岡野バルブへ行ってくれ」と言ったら、運転手いわく「歩いての方が早いですよ」とい



るともいえよう。ボールゲームではスタートダッシュを早くすることは、いわゆる「勘」といわれるものに左右される。トレーニングの面から考えれば、瞬発力を強めるのが必要と考えられる。力がある状態から要求されるに必要な全力を発揮するまでに要する時間が短ければ短かいほどスタートが早くなる。強い筋力を持っていてもその筋力を発揮するまでの時間が長いということは、ボールゲームでは役に立たない筋力となって

うエピソードをつくり出してくれるチーム。このチームは岡野社長、岡野専務の温かい援助の手中で育ってきた。岡野専務は九州帝大時代はスポーツマン、したがってハンドボールに対する理解も深い。チームの責任者は小野信監督。小倉工業高校の卒業生が入社したのがきっかけ。小野監督は言う。「①ハンドボールをやる者が少ない。②会社のコートがない。③門司には練習相手がいない。④指導者がいない。⑤私はボールひとつ握ったことのないズブのしろうと。……ないないづくしのチームもちょっと珍しい。チームができて二年半、その間小倉工高の岡井幸由先生の指導で腕をあげてきた。いまは小倉工高のOBがチームの中心勢力となっている。昨年韓国に遠征した全日本高校チームの一人、矢島君の入社は大きな戦力となっている。18、20歳と若さを売り物にしているチームである。昨年岡野専務は「三年後には美業団NO.1になる」と張り切っていた。チーム全員は岡野専務のこの言葉に刺激され、山口国体の代表となった。小野監督は「11人制から7人制に切り替ってよかった。打倒大崎電気が目標です」とすごい意気込み。

走の持久性を高めるためにはインターバルトレーニングが有効である。インターバルトレーニングには目的によっていろいろなやり方があるが、この場合はスピードの持久性を高めるようなインターバルトレーニングと考へていた(きたい)。インターバルトレーニングの方法は、陸上競技の短距離におけるトレイニング方法がよい。しかしハンドボールの走におけるインターバルトレーニングでは、ハンドボールの特殊性を考慮して実施する必要がある。すなわちインターバル中の動作については、この動作について研究し、より実戦的な方法を見出すようにする効果が大になる。さらに基礎体力的な持久性を高めるためには、サーキットトレーニングが有効である。サーキットトレーニングにおいては、選手個人、チームの状況に応じて、誤りないスケジュールを組まねばならない。前号でも述べたが、あくまでもボールゲームであるからボール

ンドリングの技術との関連性を無視してはならない。目をみはるようなスタートダッシュも、ボールがこれにもなわななければいたずらに走るといふことに終わる。ハンドボールの技術の一つとして有効ではない。このことは非常に重要であるので再び述べる次第である。フットワークはダッシュが自動的な動作であるのに対して受動的な動作といえよう。相手はまずためには常に相手の動作(フットワーク)によって制限される。フットワークでは敏捷性と、ダッシュ以上の瞬発的な力が要求される。さらに同一の姿勢(構え)を必要とする。ここでは筋力の持久性が重要とされる。今回の分析ではフットワークにおけるスピードは分析しなかったが、おそらくダッシュ以上のスピードが発揮されているのではないだろうか。フットワークには必要ない要素を分析することにむずかしい。ただトレーニングからみれば、フットワークにおいてもインターバルトレーニングを考へる得る。そして基礎体力としては脚力の養成が必要である。

▽：IOC総会でハンドボールがまた除外された。除外するスポーツの表決で1位が柔道の37票、ハンドボールは33票だった。同僚の柔道担当記者は「柔道は37票でハンドボールよりも悪いとは情けない。パレーボールには負けてもいいが、ハンドボールだけは勝ちたかった」と暗い表情。私は言った。「ハンドボールはヨーロッパが本場だよ。次期オリンピックがリヨン（フランス）だったら開催種目（フランス）だったところだ。ハンドボールはベルリン・オリンピック大会でオープン競技として公開された歴史があるんだ。柔道とは比較にならないよ。柔道より評判のいいハンドボールの話。」

柔道を追い抜いた

▽：東京都協会の渡辺和美氏（大崎電気社長）は「東京都協会の建て直し」の手始めにして、定例理事会の欠席をきびしく取り締まることにした。連統三回欠席の場合は理事の資格を大きく奪する。……つまり肩書きだけあっても、実際に協会の運営にタッチしない役員は無用であるというもの。やる気のある人たちで再建しようというのが渡辺会長のねらい。おかげで社長室で開く理事会は毎回出席率がいいとか。東京都協会がしっかりしないと、ハンドボールの組織は弱くなる。会長を引き受けた以上はトントンまでやる。日本協会の力をさらに大

楽書帖

第17回

治武尾鴛

大きく強くするためには下部組織の伸張がカギである。日本協会の年間予算もあていどではなにもできない。下部組織がしっかりしないとどうにもならぬ」とものすごい意気込み。

▽：少し古い話（といってもことしです）だが。NHKテレビ「私の秘密」のゲストにヒマラヤのホワイト・ピークに登頂した人が出た。この人の秘密をめぐって解答者との間にやりとりがあった。そのなかでゲストの人が「スポーツですが、オリンピック種目ではない」と言ったら、解答者の渡辺紳一郎さんがすかさず「それはハンドボールですか」と答えた。これをきいた私は実のところびっくりした。渡辺紳一郎さんがハンドボールを知っていたのに敬服した。渡辺さんはわれわれ新聞記者の大先輩である。普通の人ならハンドボールまで思い出さない。渡辺さんがハンドボールという競技が日本にあることを知っていたことは、ハンドボールがマイナースポーツでないことを証明しようなものである。

の。もったもつとも式場会長が以前に新潟県で行なわれたこの「私の秘密」に解答者として出席した影響かもしれない。いずれにせよNHKテレビの電波を通じて「ハンドボール」という言葉が聴視者の耳に達したことは事実である。その夜はうれしくなつてビールで乾杯した。

時評

▽：日本のハンドボール界が待ちあぐんでいた「オリンピック種目の採用」が十月のIOC総会（西ドイツのバーデン・バーデン）でまたも除外されてしまった。見送りの三振である。高嶋理事が昨年ヨーロッパに遠征したとき、国際ハンドボール連盟、フランスハンドボール協会の首脳部にこのことを打診してきた。「ソ連がリヨン開催に協力してくれることになっている。そうしなければハンドボールは有望です」との返事をきいていたから、少しは望みをかけていたわけ。ラテンアメリカでのオリンピックは初めて、これではハンドボールのほい余地はない。新聞報道によると表決、つまり不必要なスポーツには「X」をつける方式。柔道が37でいちばん先にオミットされ、パレーボールは25票とか。ハンドボールは二番目で33票と外電は伝えている。柔道よりもよかったことは、せめてもの慰めである。

プラハ大会で大暴れ

▽：来年三月プラハの世界7人制選手権大会に日本が二度目の参加を決めた。オリンピック参加の望みが断ち切られた現在、この大会でいかにあはれ回ってきてほしい。協会ではこの参加を決めた直後から選手選考委員会を設けた。これは各種の全日本大会の優秀プレーヤーを二十

名門慶大よ！ がんばれ

人ほどビックアップし、あらゆる角度から検討し、採点している。協会が世界選手権に本腰を入れた証拠だ。この資料を参考にして全日本チームを編成するわけだが、なにしる貧乏世帯の協会のこと。全日本選手団全部の旅費を負担するわけにはいかない。優秀選手のなから自費を捻出できるものに限定されてしまう。

これは仕方ないこと。協会自体が裕福なら別段問題はないのだが。頭の痛い話である。海外遠征の費用があれば「片寄った編成だ」といわれなくてもすむものを。

▽：慶大は春の関東リーグで最下位となり二部に転落した。それで夏に鍛えようというわけで7月19日から約1週間、東京―大阪間徒歩による踏破を試み、途中各地のクラブチームなどと試合を行う「荒行」をやった。慶大といえは国内最古の部歴を誇る名門、精神的な建て直しをはかってこらう。きくところによると徒歩計画は大会前からあったとか。となれば慶大は始めから全日本学生で勝ち抜くという気がなかつたことになる。最近の学生の大大会は星勘定に汲々としている。最大目標の「優勝」を始めから望まず、リーグ戦なども一部の学校だけが優勝を望んでいる。とういて歯が立たないと思う。一部に残る星勘定ばかり気にする。慶大の場合などそのよい例ではなからうか。学生界全般に、精神的なゆるみが感じられるのは残念なことである。

PARIS



ボーイング 707 ジェット機が
東京から毎日就航！
(但し月曜日を除く)

■ヨーロッパの玄関—パリ

パリはヨーロッパの政治、経済、文化の中心で、ローマ、ハンブルグと共にヨーロッパ旅行への最も便利な玄関になっています。

■パリの玄関—オルリ空港

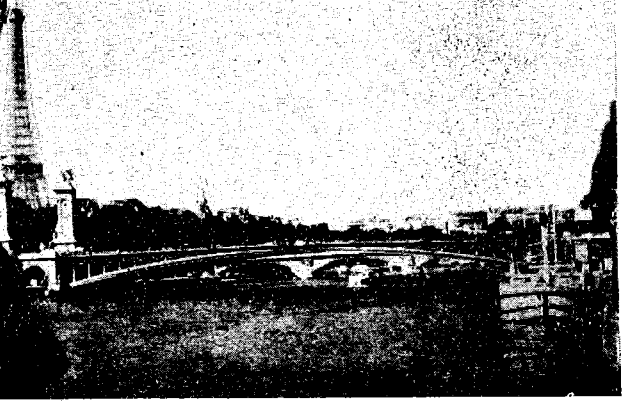
ヨーロッパでいちばん新しく、規模の大きいオルリ空港は、その設備も極度に合理化された近代的な空港として定評があります。また空港ビルには世界で最も完備した免税ショップが開店しました。ここでは品物によっては市価の半値以下でお買物をなさることもできます。

■エール・フランスは日本人駐在員を配置

海外旅行をされる日本のお客様のためのサービスの一端としてエール・フランスではヨーロッパ各地に22名の日本人駐在員を配置しております。パリでは、オルリ空港とシャンゼリゼ営業所に日本のお客様専用のカウンターを特設し、みなさまのおいでをお待ちしております。

エール フランス

東京都千代田区日比谷三井ビル TEL (501) 6331(代表)
大阪市東区大川町淀屋橋勤銀ビル TEL (202) 3326(代表)
名古屋市中村区堀内町 毎日ビル502号室 TEL (54) 0540





立大、会心の初優勝飾る

第6回全日本学生選手権は7月

15日から5日間、東京四谷の外濠公園コートで21校が参加して開かれた。

▽一回戦

中京大	34	1816	8	3	11	神戸大
甲南大	25	1312	11	11	22	東大
早大	31	1219	9	7	16	京大
関大	27	1314	14	10	24	教大
広島商大	24	1311	8	9	17	東北学院大
芝浦工大	31	1714	6	8	14	中京大
早大	19	910	11	5	16	関学
法大	33	1815	8	6	14	大阪経大
立大	25	169	4	4	10	関大
広島商大	16	610	7	8	15	中大
同大	21	9	4	7	11	明大
慶大	29	1415	10	10	20	立命大
日体大	31	1417	7	6	13	甲南大

○立大―関大は東西の優勝校同士。前半関大バックスが健闘して後半に興味をつないだが、立大は時間の経過とともに攻撃の調子があがり、後半は小さきよい速攻を連続させた。関大は立大に比べるとすべてにテンポが遅く、最近の東西の差をみせつけた試合だった。

▽準々決勝

芝浦工大	25	1312	11	5	13	早大
立大	26	1511	11	2	10	法大

勝負は前半で決まってしまう。立大のエース安達のロングシュート、これはコントロール、スピードがあつてすばらしい。広島商大 21(1011)6 15 同大

四月の西日本学生の準決勝で顔が合い、18―15で広島商大が勝っている。同大としては、ぜひとも雪辱したいところだったが、試合は広島島のペースとなった。後半同大は追いあげたが、逆転するにいたらなかった。

日体大	34	1915	11	8	14	慶大
-----	----	------	----	---	----	----

慶大の善戦もむなく、ダブルスコア以上の差となった。春のリーグ戦に比べ、慶大はかなりよくなった。

新調のユニホームを着てはりきる芝工大、リーグ戦に続き連勝を狙う立大。しかし、試合のペースは芝浦工大がにぎり、前半の4点差は立大にとつてかなりの負担となるかにみえた。この試合の圧巻は後半の立大の反撃にあつた。後半まず江名、中根が中央から強引に連続シュート、9―11としたあと安達―江

名のコンビ10―11で。さらに10分7メートルスローを成功させて同点となった。この10分間、芝工大が無得点に終わった。これは立大のすさまじい氣勢に押し、自らのペースを狂わしたからである。それ以後は一進一退。しかし残り3分のときに芝浦工大は14―15とし、再び主導権をにぎった。だが粘る立大は27分タイター・パスプレーから15―15のタイとし、28分には中根の機敏な動きから逆襲。芝工大の掃陣がわずかに遅れたスキをついて中根自ら見事なシュートを決めて逆転、勝利へ導いた。

芝工大は5本の7メートルスローを成功させ、最終試合のペースをにぎりながら負けた。

日体大	27	1314	11	7	16	広島商大
-----	----	------	----	---	----	------

日体大の試合運びはさすがにうまい。広島FWを巧妙なディフェンスで封じる一方、スピード豊かなフォロメーションプレーで着々加点した。上げ潮の広島商大も日体大の多彩な攻撃力にはカブトをぬいだ形。

▽3位決定戦

芝浦工大	30	1812	11	2	9	広島商大
------	----	------	----	---	---	------

▽決勝戦

立大	16	106	11	6	13	日体大
----	----	-----	----	---	----	-----

各紙の決勝戦・評。○久しく酒に遠ざかっていた立大が、今春12年23シーズンぶりに関東学連で優勝、あざやかなカムバックぶりをみせた。この大会でも強豪を

連破して宿願の初優勝を飾り、5年間芝浦工大の手から離れなかった。優勝を勝ち取った。

立大は日体大ゴール前での反則を少なくして日体大の速攻を封じる作戦に出た。これが見事成功。これは安達、中根がユニバシアードで学んできたものだ。そして攻

S	5	8	7	1	2	9	0	0	0
得	6	5	3	1	2	1	0	0	0
失	12	8	3	3	2	2	0	0	0
【立大】	名達	藤村	本根	保原	久	形			
【江安】	安	倉田	松中	高	尾				

【原友 原山 田口 城 辺 崎】 GK

【日石三 林 藤北 沢山 結 渡 島】	2	1	1	1	0	0	0	0	0
反	0	2	2	9	4	4	1	0	0
S	2	0	1	2	4	3	1	0	0
得	7	4	0	6	2	2	1	1	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0

めては中根が走り回って、日体大の2―4デフェンスをくずしてチャンスを作った。

この中根の動きで江名、安達の強肩が生きた。接戦を続けながら終盤、強引な攻撃でリードを奪い、勝利に結びつけた。

日体大は立大の厚いデフェンスを破れず、後半10分から23分まで無得点。これでは勝てない(共同通信社・鶴尾記者)

○前半は優勝を意識して動きの鈍い試合だったが、後半はGKのボール出しもよく、速攻の応酬となった。

立大は中根がゴール前で走りまくってチャンスメーカーの役目を果たし、江名に打たせた。これが

東軍が連勝

た日体大ゾーンを攻めたて、ようやく立大のペースとなり、あせり出した日体大を振りきった(報知、古藤記者)

○：立大のチームワークの勝ちだった。日体大は身上の速攻をあまり發揮できず、立大のじっくり攻める作戦に完全にまけていた。立大は長身を生かして豪快なジャンプ・シュートを決めるエースの安達。小柄だが機敏に動く中根が好パスを送るなどこの二人がよくチームを引っばった。前半は1点差を争って互角の試合運びだった。後半にはいるとスロースターターの立大が地力を發揮。試合時間10分を残して初めて2点差を開いた。なおもゴール前の混戦から齋藤が振り向きざまにシュートを決めるなど立大ペースとなった。日体大は終了5分前、安達の反則(2分間退場)から7メートルスローを決めて追い込んだが、立大はそのあとボールをゆっくり回して日体大の反撃を許さなかった。江名、安達がダメ押しシュートを決めてゆうゆうと押しきった(日刊スポーツ・大村記者)

【注】決勝戦々評は各紙の記事を掲載したものです。順不同。(編集部)

よく効いた。12分田村、15分松本がゲットして11-9と引き離したが、いずれも中根の動きをじゅうぶん生かしたものだ。こうなると完全に15分以後は立大のペース。日体大は前後半とも中根に引っかかり回され、また沢田、北山のポイントゲッターが完全にマークされたのが大きく響いていた(朝日・中山記者)

第13回全日本学生選抜東西対抗戦は、9月22日午後3時から名古屋市八事の中京大球技場で行なわれた。試合は全日本、全日本学生優勝の立大を主力とした東軍が多彩な攻撃で西軍を圧倒、昨年に続き快勝した。対戦成績は東軍の7勝6敗となった。(主審・宇津野年一、日体大出)

東軍 27 (141-7) 13 西軍

【交代】	東軍	西村(法政)	鎌滝(東北学院)	平塚(早大)	北田(立命館大)	平岩(関大)	立石(関大)	東(広島商大)
【交代】	西軍	西村(法政)	鎌滝(東北学院)	平塚(早大)	北田(立命館大)	平岩(関大)	立石(関大)	東(広島商大)

国体成績一覽表

大崎電気(一般男子) 3連勝

高校は男子とも徳山(山口)

第18回国民体育大会は10月28日から11月1日まで山口県徳山市(高校、下松市(一般、教員)で開かれた。高校男女とも地元徳山高が初優勝、一般男子は大崎電気(埼玉)が3連勝、一般女子は大洋デパート(熊本)が2連勝した。今大会から初参加の教員男子の部は大阪教員団(大阪)が初優勝した。また天皇杯得点では地元山口県が第1位、皇后杯得点でも山口県が第1位となった。

なお一般男女の大崎電気は昨年まで東京から出場していたが、今年から埼玉県代表となった。(くわしい成績は次号に掲載します)

▽同決勝	大崎電気	15	7	3	8	愛知紡
▽同三位決定	大崎電気	15	7	3	8	愛知紡
▽同決勝	大崎電気	15	7	3	8	愛知紡
▽同三位決定	大崎電気	15	7	3	8	愛知紡

▽同決勝	大崎電気	15	7	3	8	愛知紡
▽同三位決定	大崎電気	15	7	3	8	愛知紡
▽同決勝	大崎電気	15	7	3	8	愛知紡
▽同三位決定	大崎電気	15	7	3	8	愛知紡

は4点差と離されたが、ふん詰気になれるにしたがい追い上げて前半を終った。後半になると立ち場が全く逆になり、桜台が中京商のパスプレーをカットしては逆襲。同点から一気に逆転し、後半9分には桜台が12-10と優位に立った。しかしこのあと、桜台は後半開始直後の猛スパートにスタミナを使いすぎたか動きが鈍くなり、中京商の反撃を許して薄氷を踏む思いの試合ぶりだった。リードをするとかえって堅くなる高校チームの「心理」は全く微妙である。

○：7人制初の大会で高校界において7人制は未成熟の感が強かった。さすが名門桜台は基礎体力、基礎技術にすぐれていた。その両面において桜台高優るとも劣らなかつた中京商の敗退は、不運というよりはかはないであろう。

桜台高・稲石監督の話 7人制の経験がとほしいうえ、推薦出場したので大会前に試合不足だった。自信があまりなかつただけにこの優勝は非常にうれしい。これで私も選手も7人制に対して一応の自信ができた。連勝は

もちろんねらいたいが、各校の実力伯仲で11人制当時のようなわけにはいかないだろう。

女子

豊中	18	7	0	0	0	川崎市立	18	7	0	0
山陽	15	8	7	4	3	日山	15	8	7	4
八幡	8	3	5	2	5	高崎市立	8	3	5	2
栃木	10	6	4	2	0	大垣南	10	6	4	2
泉	13	3	1	4	5	山梨	13	3	1	4
静岡	16	7	9	3	1	豊中	16	7	9	3
新居	14	7	7	3	3	有磯	14	7	7	3
盛岡	16	7	9	3	4	郡山	16	7	9	3
山陽	21	10	11	0	2	小諸	21	10	11	0
京都	14	6	8	3	5	室蘭清水	14	6	8	3
浦谷	12	7	5	1	1	高志	12	7	5	1
栃木	15	9	6	1	1	和洋	15	9	6	1
高知	5	3	2	1	1	小高	5	3	2	1

徳山 25 13 12 1 4 6 沼津女商
桜水商 14 9 5 1 4 6 東大分
水海道二 6 2 4 1 2 3 5 明善
能谷商工 18 9 9 1 1 3 4 那賀
柏崎常盤 12 6 6 1 2 5 7 津女子
半田 22 12 10 1 2 1 2 3 八幡商
熊本市立 15 9 6 1 2 3 2 5 泉尼崎
熊本 9 9 1 3 2 5 5 泉尼崎

▽三回戦(8試合)
静岡北 13 7 6 1 1 2 3 井原
栃木女 20 10 10 1 2 0 2 2 高知西
新居浜東 15 3 12 1 2 1 3 盛岡二
徳山 8 4 4 1 3 3 6 桜水商
山陽女 11 2 9 1 1 4 1 5 京都女
北海道一 13 6 7 1 1 5 12 熊谷商工
半田 13 5 8 1 1 4 2 6 涌谷
熊本市立 16 11 5 1 1 3 3 6 柏崎常盤

▽準々決勝
静岡北 18 11 7 1 1 2 3 5 新居浜東
半田 13 7 6 1 1 2 5 7 山陽女
高知西 5 3 2 1 1 3 6 徳山
小高 5 3 2 1 1 3 6 徳山

水海道二 10 7 3 1 4 8 熊本市立
▽準決勝
静岡城北 11 6 5 1 4 3 7 半田
栃木女 19 11 8 1 3 5 5 水海道二

▽決勝
静岡城北 9 2 7 1 2 4 4 栃木女
反5 2 6 4 7 5 0 0 0 0 0
得4 0 0 7 0 0 2 0 0 0 0 0
S 4 0 1 8 0 0 1 0 0 0 0 0
【静岡】山本山口川合山林田山
【熊本】山本山口川合山林田山
【静岡】山本山口川合山林田山
【熊本】山本山口川合山林田山
GK 4 15 9 29
メー 7
スロ 3

○：先取点は4分7メートルスローを成功させた栃木があげた。しかしこの1点で逆に静岡は緊張したふん詰気から解放され、5分、6分と山口があざやかな突進力をみせて連続ゲット。あっさり逆転した。
静岡はその後も栃木の攻撃が単調になったのとは対照的にたくみなサイド攻撃で栃木のデフェンスをゆさぶり、すばらしいコンビネーションプレーを展開、完全に試

合の主導権を握った。
点差を開かれると栃木の攻守は動揺がかくせなくなり、途中から降り出した雨で得意のラッシュ攻撃が利かなくなりました。

○：後半、静岡は4分亀山がミドル・シュートを決め8-2とした。
この1点は、栃木にとって精神的に大きく響き、ここで「勝負あった」感である。静岡は前日の試合で松田(CF)が負傷、この試合にほとんど出られなかった。これが他の選手を奮起させた。特に一人で7点をあげた山口の攻撃力と亀山の落ち着いたリードぶりが光った。栃木は前日までの5試合で78点をたたき出した攻撃力を発揮できずに終わってしまった。これは静岡の守りのうまさを買すべきであろう。

静岡城北高・望月監督の話 追われる立ち場なので苦しかったが、自信はあった。
あぶなかつたのは半田戦(準決勝)と決勝でした。特に決勝はエースの松田が半田戦で故障したため使えず心配していた。しかし他の選手が奮起してりっぱな試合をしてくれた。チームワークが最大の勝因です。

韓国高校チーム来日

韓国高校(男子)チームは11月28日午後羽田着のノースウエスト機で来日、東京、名古屋などで六試合を行なった。成績は5勝1敗

①明 星19—11韓国(東京)
 ②韓 国38—18茨城選抜(水戸)
 ③韓 国24—19名古屋選抜(名古屋)

④韓 国22—19兵庫選抜(神戸)
 ⑤韓 国23—17大阪選抜(大阪)
 ⑥韓 国38—22福岡選抜(北九州)

なお韓国チームは12月7日小倉港発の「なにわ丸」で帰国した。

「役員」
 団 長 柳 錫興(韓国協会理事)
 監督 朴 淳哲(成均館大教授)
 総務 崔 鐘錫(大倫高教師)

コーチ 劉 洙剛(韓国協会技審判委員)
 審判 鄭 鎮圭(同)
 選手 崔 大鎬(円光高)
 李 炫鐘(大倫高)
 尹 常林(東星高)
 柳 在男(麻浦高)
 朴 鐘甲(光州工高)
 全 福秀(大倫高)
 金 鐘華(光州工高)
 洪 成萬(五山高)

金 広錫(東亜高)
 趙 永寿(五山高)
 金 性淑(麻浦高)
 崔 伯均(東星高)
 金 丘(円光高)
 朴 成斌(普成高)

がんばれ!! 山中君
 (伏見工高)

かという点をほつきり示したものである。

○女子は上位チームを除いては、基礎的技術に欠けた点が目立った。スタミナの配分を考えないためバランスを失い、ゲーム自体に動きのないまま相手に得点を許すなど粗雑な面が見られた。小数のプレイヤーに頼りすぎたために攻撃が変形となり、かれらの調子によってゲームが左右された試合の多かった。

れ、好試合も見られた。だが全般的にはスピードとフットワークのコンピネーションに欠け、デフェンスの荒さが目立った。また反則もかなり多く見られた。しかもそれがあつたチームだけに固定していることは、指導上一考を要するもので残念に思われた。反則の多いチームが勝つということは、本来のあり方から逸脱するもので大いに反省すべきだ。

総評

全国高等学校体育連盟は、ことしから全国大会を一カ所に集めて開催する計画を持っていた。しかしそれは諸般の事情で実現できなかった。ハンドボールは財政面での補助金や、文部省、日本放送協会、朝日新聞社らの援助を得て、今大会の運営がとりわけ円滑に行つたことはなによりのことであった。

○本年度から男子も女子競技と同様7人制となった。男子43チーム、女子37チームの計80チームになり、期間も六日間となった。

富士吉田市は初日と最終日以外は天候に恵まれた。グラウンドコンディションは良好で、富士山を仰いでの高原のそう快なふん囲気は格別なものがあった。それだけに若々しい力を遺憾なく發揮し、高校生らしい熱戦が展開された。技術面にもまだまだ地域的な差は否めない。基礎練習の不じゅうぶんなチームが見られた。一応7人制についてはマスターさ

目立つ反則と荒さ

試合が進むにつれ技術も伯仲し、個々のチームの特性も生かされてきた。

緊張と若さのせいかわ凡プレーが多くそれが勝敗に直結しては、個人プレーに頼るより、やはり全体のまとまりを持ったチームが勝ち進んだことは当然。ハンドボールはチームプレーであり、チームとしての精密さ、機敏さ、的確さなどの鍛練がいかに要求される

望みだ。それと一度、二度の失敗でプレイヤーに対する自信を失った選手が多かったが、さらに心技両面の耐久力を養う必要があろう。決勝戦では、折りからの降雨でグラウンドコンディションに恵まれなかったが、実力のある栃木女子が敗退したのは惜しまれる。特に勝ち前の速攻が見られた。静岡城北にすくかりお株を奪われた格好であった。(高体連ハンドボール部)



芝浦工大優勝

第16回全日本学生王座決定戦は11月23日新宿体育館で芝浦工大(同志社大の間で行なわれ、芝浦工大が25—17で勝った。芝浦工大は36年いろいろ3連勝、通算6度目の優勝である。(くわしい記録は次号に掲載します)

日本ハンドボール協会公認球

一番丸く使はれて居る!

サービス部
 新宿区新宿2丁目電停前
 TEL (34)2979・1016

望月運動用品KK
 東京都墨田区横川橋4丁目6
 TEL 本所(622)0746

防御の研究について

遠藤健次

(日本協会強化委員)

防御について書けといわれた。国外、国内の優秀選手を見たり、研究しているとされる数人の諸兄にたずねた。攻撃練習に重点をおき、防御はその合間、少々形ばかり行なうていどとの返事しかもらえなかつた。

基本練習についてまずいえることは、走力、敏捷性、タイムニングなどを高めるような練習を行なうべきだ。それらについては過去において11人制ハンドボール防御法でじゅうぶん研究されたと思われるので、個々の内容について気づいた点をあげてみる。

一、姿勢についてはいついかなる方向にでも移動できるように、自然に体重を両足に均等にかけて置くことが大切である。

二、スタートダッシュについては長い距離を行なわず、短い距離を繰り返して時間をかけた方がよい。リターン、フットワークなども同時に行なう。前後左右に短く(2〜3メートル)、つねに相手の正面に移動できるように反復する。しかもこれらの練習において、は宙などを用いる必要なく視覚にたよるべきであらう。相手はつねに動いているわけで、その動きに応じて移動の必要性が生じるわけである。

三、短距離の練習を多くとり入れる。従来腰を落として低く構えるようであったが、これからは陸上競技の走法でよいと思う。

大阪の馬場氏も前号でのべられたいが、防御は最大の攻撃の糸口。すなわち速攻への足がかりとして、また相手速攻の防御のためにもカット方法、円形または対列で行なう。円形においては2〜3人のコンビを合わせて行ない、ボールの身近かにいる者がボールの進路を指定するような角度をもつて当たる。ドリブル、カットのチャンスは縦の動きのときボールが手から離れた瞬間にスタートし、軽く押えるかまたは軽くはじくようにする。従来行なっていたとおり、対列の場合は主にスタートのタイミングの練習になるのでは、ないか。カットできない場合は、バックステップでもとの位置に帰えることが忘れがちなので注意した

防御とは……… 得点を許さないこと

四、フェイントに対する練習としては、早く正面に位置し相手の歩数を読む。そして適当な間隔をおきむりたカットは狙わず、むしろシュート方向を限定させるような位置に移動する。しかもつねにボールを中心にして左右三人の相手を広げることができるようにする。

五、通常アタックと呼ばれる動作は、相手側が走り出したあとでは効果が無い。相手側がスタートを起す前、相手に相手の正面に位置し、長い距離を走らせ方向転換をやらせ、またスピードを出させないようにする。

六、ポジションチェンジをスムーズにできるようにする。たとえば四人一組となり、一人は攻撃側とし順々に各ポジションを変え、徐々に人数を増すというようた練習方法もある。

七、次に防御に必要なことは、全員声を出しながら連絡がとれるようにする。防御の目的は得点を許さないことである。キーパーの守備範囲をせまくすることができれば可能性はある。したがってシュートコースを限定させること。そのさいはキーパーの弱点をカバーすることができればよい。

「流し」と呼ばれているシュートは、小細工の可能性が大きいので、近めにシュートしてしまいう仕向ける練習もしたい。さて防御方法はゾーンディフェンスとマニツマンディフェンスとに大きく分けられる。速攻に適するもの、遅攻に適するものがあり、1〜5、2〜4または一線と呼ばれているものが含まれている。それぞれの方法において長所、短所があるわけだが、両方法の長所、特殊性を研究し、あわせて相手方の特徴を早く見出す。同時に進路に立ち方向転換させてフオロー、速攻に連続をもたせる。パス、カットを積極的に行なう。一人の失策はキーパーを含む全員でカバーできるようにしたい。

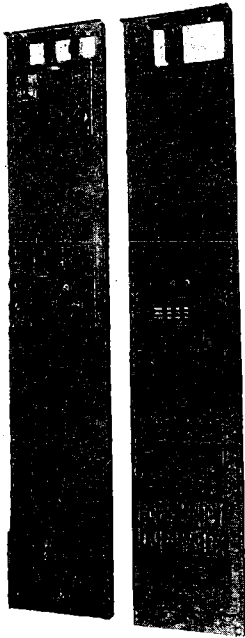
速攻に対する練習方法としてはコート全面を使いキーパーを入れる。初め三人づつ攻防の二組を編成し、キーパーからのボール出しがスピードイヤーに行なえるようにする。また同時防衛陣は同じくスピードイヤーに帰陣し、守備につけるようにしたい。

Osaki

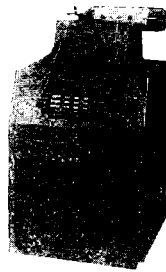
大崎電気の電子機器

生産の合理化と生産性の向上に

活躍するエレクトロニクス関係機器



中央指令式受量計算作表装置



送量装置

デジタルテレメータ

電圧、電流、電力、電力量、水位、温度、圧力その他時々刻々に変化するいろいろな量を測り、数百メートルあるいは数キロメートル以上離れた遠隔の位置で自動的にそのデータを整理計算要約し、タイプライターにより直ちに役立つ生産管理用記録表を作成する自動装置であります。なお現在はオールトランジスター式で構成されております。

営業品目

積算電力計、計器用変成器
電流制限器、配電盤
分電盤、ニュートラルスイッチ
電圧調整器、テレメーター



大崎電気工業株式会社

本社 東京都品川区五反田1の263
電話 (44) 2111 代表

日韓親善 後半四戦

韓国

粘りと

スタミ

ナ発揮

六月上旬、日本を訪れた韓国学生選抜チームは先号既報後に京都、広島、山口で合計四試合を行なった。本誌ではこの四試合の模様を馬場太郎氏（日本ハンドボール協会副会長）の観戦記によってお伝えしよう。

韓国学生チームの来日第5戦は

6月16日午後3時から京都市立体育館に約一千五百の観衆を集め、京都学生選抜軍（同大、京大、立命大混成）との間で行なわれた。主審玉城修。

京都学生 19 (11 | 7) 16 韓国学生

反4 0 0 8 14 7 4 1 1 1 2 3 0
得1 0 0 5 14 15 2 6 0 0 0 0 0 0
S 1 2 14 16 15 8 0 0 0 0 5 0 0 0

【大】大田大 大田大 大田大 大田大
【同】同立 同立 同立 同立
【京】京大 京大 京大 京大
【立】立命大 立命大 立命大 立命大
【混】混成 混成 混成 混成
【本】本原 本原 本原 本原
【森】森田 森田 森田 森田
【野】野村 野村 野村 野村
【井】井野 井野 井野 井野
【同】同立 同立 同立 同立
【京】京大 京大 京大 京大
【立】立命大 立命大 立命大 立命大
【混】混成 混成 混成 混成
【本】本原 本原 本原 本原
【森】森田 森田 森田 森田
【野】野村 野村 野村 野村
【井】井野 井野 井野 井野
【同】同立 同立 同立 同立
【京】京大 京大 京大 京大
【立】立命大 立命大 立命大 立命大
【混】混成 混成 混成 混成
【本】本原 本原 本原 本原
【森】森田 森田 森田 森田
【野】野村 野村 野村 野村
【井】井野 井野 井野 井野

7メートル スロー GK

【変】錫王 竜政 魯慶 成碩 植文 植仁
【康】康源 秀弘 正一 在 京 裕 仁
【姜】姜徐 任金 李金 尹柳 金張 白

反3、FP斎藤（同大）S3、反
2 FP樽井（立命）反1

○：韓国はようやく日本チームの試合ぶりにもなれ、京都選抜をしのぐプレーを見せた。しかし京都選抜も石井、鳥井、宮野の同大トリオが活躍。この三人で16点をたたき出す活躍に、韓国はまたして

さる6月に韓国学生選抜チームが来日した。外国の学生チームが来日するのはこれが初めてであり、大いに親善の実をあげた。思えば韓国と日本のハンドボール界の結びつきは古い。いや日韓両国のハンドボールの草創期に貢献した人たちは、同一の人たちだともいえそうである。

期待大きい日韓交流

本誌に連載されている球史のうち、戦前の全日本選手権に、多くの韓国姓の選手がいることにお気づきの方多いもだろう。

ボールの芽を植えたのである。だれもみな日本のハンドボール界の草創期に活躍した。忘れ得ぬ人たちがである。同時に韓国ハンドボール界のパイオニアである。25年後の今日、韓国チームを迎えることができたのはまことによろこばしい。西独、ルーマニアの来日と同じような意義を、この国際試合に見出すことができた。

来日チームの監督である洪淳泰氏は日体大のHBとして第2回全日本優勝のメンバーである。コーチの崔東淳氏は日体の二代目主将として、強シュートを武器に名CFとして鳴らした人だ。ある人が一昨年訪韓した日体大が母国に帰って韓国にハンド

も惜しいところで白星を逸した。

韓国は、スピードはあったが攻撃が単調で、シュートの多彩さからも京都の勝利は順当であった。韓国では金（秀）の守備での動きと、姜、徐、金（京）の攻撃力が目についた。

多彩な攻撃で逆転

韓国学生チームの来日第6戦は6月17日夜6時30分から広島県立体育館に約二千五百の観衆を集め広島商大との間で行なわれた。主

審上田喜代治（明大出）
韓国学生 19 (9 | 12) 17 広島商大

反2 3 0 3 2 3 0 1
得1 8 1 1 0 0 3 3 0
S 1 17 1 1 1 0 7 3 0

【原】原瀬 元野 田伯
【島】島原 西河 上佐
【柏】柏市村 西河 上佐

7メートル スロー GK

【変】錫王 政男 成魯 水碩 竜文 植仁
【康】康源 弘一 正根 在 秀 裕 仁
【姜】姜徐 任金 諸尹 李楊 柳金 張白

141933 0

○：立ち上がりは完全に広島商大のペース。エース市原が1、3、6分に連続ゲットして優位に立った。しかし韓国はこのあと、徐、李を中心に反撃に移り、15分には4-4のタイとした。その後は一進一退。わずかに終了間ぎわに広島商大が柏原、東の連続得点で2点の差をつけた。

ネットを使ったスクリーンプレーをみせるなど、多彩な攻撃で連続5ゴール。18分には15-13と逆転に成功した。広商大は、韓国の激しい当たりにもどわされ、しかも市原の負傷から前半に比べて攻撃のスピードが落ち、韓国デフェンスをなかなか突き破れなかった。

韓国、山口大会で2連勝

韓国学生チームの来日第7戦は6月18日午後3時から、下松市民体育館に約一千の観衆を集め、下松工業高クラブとの間で行なわれた。主審藤田信義(日体大出)。

韓国学生 24 (159-117) 18 下松エグ

○：広商大にとって惜しまれるのは25分18-17と1点差につめたあと、7メートルスローを得、タイとすべきチャンスに東がラインクロスして失敗。しかもその直後のボールを徐に見事にシュートされ19-17とされてしまったことだ。

この1分間のプレーの明暗がこの試合を決めた。余裕を取り戻した韓国は、その後ローリングで広商大に反撃の機会を与えず、来日らしい初の1勝をあげた。

○：韓国の勝因は持ち前の粘りとスタミナにある。来日六戦にして日本のプレーの長所をいちはやく取り入れたのは賞すべきであらう。とくに姜、徐、李のトリオが、一段とその攻撃に多彩さを加えてきたのは注目される。広商大は全員が堅くなっていたうえ、後半市原が精彩を欠いたため、せつかく

の前半のリードもむなしかった。フエンスの当たりの強さに突進を阻まれ、思うように攻撃ができなかった。韓国バックスの出足のよいカット守備はこの日もさえていた。守勢から攻勢へのテンポに、いま一つ物たらしめものがある。これはやはり7人制未消化に原因したもので時間が解決しよう。

韓国学生チームの最終戦は6月19日午後1時から徳山市体育館に約二千の観衆を集め、徳山クラブとの間で行なわれた。主審李時默(韓国ハンドボール協合理事)。

韓国学生 29 (1613-112) 19 徳山ク

反6651776300
得3311129100
S91274827100

【安通業板鋼製役所T印刷】
職交典鋼製役所T印刷
山長井洋新市Pき
ラ徳防白東日徳Nあ
山藤岡井木木沢崎井
徳近浜白青椎安岩藤

▽交代【下松】F P 武居、田中

○：東西の学生のトップクラスと力格的にはそんな色なかつた韓国と、高校現役主体の下松エグでは「力」の上ではつきり差があった。しかし地元の声援にこたえた下松エグは、ポストプレーを主武器に善戦した。下松エグは韓国デ

根水

○：最終戦、しかも広商大戦のあと2連勝して気をよくしている韓国に、社会人を中心とした徳山クは完全に走り負けた。

前半、徳山クは安沢、浜岡のコンビを中心に速攻でペースをにぎった。韓国も徐が当たりに当たって差をあまり開かなかった。徳山クとしては、前半大きくリードして後半優位に立ちたい作戦だったろうが、徐、姜のコンビに対するデフェンスがあまりにも不じゅうぶんすぎた。

○：後半韓国は徳山の動きが鈍り、凡ミスをくり返すところをよくついで着々加點。速攻、遅攻を交えた変化のある攻撃で最終戦を飾った。

第一戦(第四戦既報)

●韓国学生 14-21 東海学生○
△韓国学生 25-25 日体大△
●韓国学生 9-19 関東学生○
●韓国学生 22-30 桃山学院○
▽8戦3勝4敗1引き分け、総得点156、総失点168

博多港から帰国

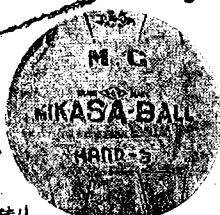
韓国一行19人は6月21日の山口大会(徳山)を終えたあと福岡に向かい、21日午後4時、博多港から船で帰国した。

根水

根水

日本ハンドボール協会公認球

定評ある!



新発売!!

皮革(18枚貼)製

最大の生産能力 最高の技術を有する!

ミカサボール

親善試合を終えて

6月来日した韓国学生選抜チームは6月20日博多港から帰国した。帰国にあたって役員、選手は今回の遠征の思い出を次のように本誌編集部へ寄せた。



韓炳喆

団長 韓炳喆
日本ハンドボール協会の招待で、多年の懸案であった日本訪問が実現したことはこの上なくうれしく感じる。

日本は三回のヨーロッパ遠征と、西独チーム、ルーマニヤチームとの国際試合で多くの新技術を獲得した。その技術をわれわれの前で見せてもらう機会を得たことは大変よい勉強になった。速いパス、突っ込みの鋭さや、倒れ込みシュートなど目新しいことが多か

った。日本ハンドボール協会の諸兄や各地の役員諸君の心からなる歓待ぶり、観衆のスポーツマン・シップに徹した態度などは頭の下がる思いがした。また各地にりっぱな体育館が建設されているのを見て、羨望の念を禁じ得なかった。われわれは今回の遠征で、8試合のうち2試合は勝ちたいと願っていたが、三つの勝星を得て帰国できることは望外のよろこびである。

今秋は男子高校を日本に送り、来年は日本から高校女子チームを韓国に招待したい希望を持っている。

日本のみなさん。いろいろお世話になりました。(韓国ハンドボール協会副会長、来日選手団団長日体大出)

アジア連盟の結成を



コーチ 崔東淳

コーチ 崔東淳

韓国は今年の4月1日から7人制を採用したばかりなので、日本チームに比べて基礎技術の訓練の不足が目立った。われわれにとっ

て惜しいのは、慶北大学の優秀選手三名の不参加であった。彼らが今度のデレゲーションに加わっていただければ、強力なチームを編成することができた。日本のみなさんにもさらによい試合をお見せすることできただろう。日本を離れるにあたって、私は一つの希望を申し述べたい。

それはアジア地区のハンドボール競技の発展のために、韓国、日本、イスラエルなどによって「アジア・ハンドボール連盟」の結成を急ぐべきだということである。(韓国ハンドボール協会理事、来日選手団コーチ、日体大出)

思い出多い遠征



主将 姜仁奐

主将 姜仁奐

日本各地での試合中、とくに感じたことは観衆のスポーツに対する理解の深かったことです。私は非常に感銘深かった。

旅行中、食事になれなかったこと、言葉の通じなかったこと以外は全く楽しい連日であった。とりわけ各地での歓待ぶりは、私のス

ポーツ生活中(編集部注・姜選手は大学卒業後二年間の軍隊生活を送り再び大学に復学。球歴十一年、最も忘れ得ない思い出となるだろう。(成均館大学主将、来日選手団主将))

印象的な対日体大戦

慶熙大学 徐康錫

あこがれの日本遠征が実現したうえ、こんな楽しい旅程で試合ができたことはこのうえなくうれしい。しかもいろいろと今後研究す

べき材料を知り得たのは収穫だった。たとえば各種のシュートの方法、パスの角度、ステップの要領や1・5、2・4のデフェンスの要領など、私にとって数多くの「新技術」であった。8試合の中で、最も印象の深かったのは、日本体育大学との一戦であった。

個人のコンディションも、チームのコンディションも最良で快適な試合だった。われわれは今回の遠征の経験を生かし、じゅうぶんの練習、研究をつむつもりである。

日韓国際試合成績(※印七人制)

▽第1回(昭和36.10.21~10.29 日体大訪韓)

○日体大	22-7	慶熙大	36.10.21	京城	城
○日体大	22-6	成均館大	10.22	京城	城
○日体大	26-10	慶北大	10.24	大邱	邱
○日体大	18-4	大邱学生選抜	10.25	大邱	邱
○日体大	21-10	延世大	10.28	京城	城
○日体大	21-8	光州師範大	10.29	京城	城

(日本=日体大=6戦6勝)

▽第2回(昭37.8.31~9.7)全日本高校選抜訪韓)

○全日本高校	22-9	東星高	37.10.31	京城	城
○全日本高校※	17-8	麻浦高	9.1	京城	城
○全日本高校	16-6	養正高	9.3	京城	城
○全日本高校	18-7	大倫高	9.4	京城	城
○全日本高校	14-7	晋成高	9.5	京城	城
△全日本高校	7-7	五山高	9.7	京城	城

(日本=全日本高校選抜=6戦5勝1引分)

連載第六回

ハンドボール球史

関東学生リーグ戦前編 (上)

「記録を中心とした日本ハンドボール史」も、戦前編は「学生の部」を残すのみとなった。昭和12年(1937)関東選手権と第1回全日本選手権が行なわれた。昭和13年(1938)2月、日本送球協会が誕生。そして5月に関東学生送球連盟が設立され、第1回関東学生送球リーグ戦が行なわれた。記念すべき第一日のカードは文理大―日体、明大―早大であった。学生による公式競技会はこれが最初である。学生同士の日本で最初の公式試合はこれに先立ち、昭和12年10月22日、東京の体研グラウンドの第1回関東選手権第1日に日体と慶大が顔を合わせている。ともあれ昭和13年の第1回関東学生リーグに参加したのは、日体、

文理大(現教大)慶大、早大、明大の五校であった。それ以後毎年春・秋二回のリーグ戦が行なわれることになった。25年後の今日、関東学連に三部制全十八校を加盟しているのは、学生ハンドボール界の躍進をそのまま物語るものであろう。

関東学生リーグ戦成績①

▽昭和13年春季

文理大	6―3	日
明大	18―1	早
日体	9―4	慶
文理大	26―1	早
日体	24―3	早
文理大	19―3	早
明大	16―4	慶

日	13―8	明	②日	15―3	早
慶	14―4	早	③慶	10―5	法
文理大	6―5	明	④法	3―1	大
①文理大	4戦4勝	②日	①日体	3戦3勝	①2連勝・2回目
③明大	2勝2敗	④慶	②慶大	2勝1敗	②慶大
④早大	2勝2敗	⑤法	③法	3戦3敗	③法大
⑥早大	4戦4敗	⑥早大	④早大	3戦3敗	④早大
⑦早大	4戦4敗	⑦早大	⑤早大	4戦4敗	⑤早大
⑧早大	4戦4敗	⑧早大	⑥早大	4戦4敗	⑥早大
⑨早大	4戦4敗	⑨早大	⑦早大	4戦4敗	⑦早大
⑩早大	4戦4敗	⑩早大	⑧早大	4戦4敗	⑧早大
⑪早大	4戦4敗	⑪早大	⑨早大	4戦4敗	⑨早大
⑫早大	4戦4敗	⑫早大	⑩早大	4戦4敗	⑩早大
⑬早大	4戦4敗	⑬早大	⑪早大	4戦4敗	⑪早大
⑭早大	4戦4敗	⑭早大	⑫早大	4戦4敗	⑫早大
⑮早大	4戦4敗	⑮早大	⑬早大	4戦4敗	⑬早大
⑯早大	4戦4敗	⑯早大	⑭早大	4戦4敗	⑭早大
⑰早大	4戦4敗	⑰早大	⑮早大	4戦4敗	⑮早大
⑱早大	4戦4敗	⑱早大	⑯早大	4戦4敗	⑯早大
⑲早大	4戦4敗	⑲早大	⑰早大	4戦4敗	⑰早大
⑳早大	4戦4敗	⑳早大	⑱早大	4戦4敗	⑱早大
㉑早大	4戦4敗	㉑早大	⑲早大	4戦4敗	⑲早大
㉒早大	4戦4敗	㉒早大	㉑早大	4戦4敗	㉑早大
㉓早大	4戦4敗	㉓早大	㉒早大	4戦4敗	㉒早大
㉔早大	4戦4敗	㉔早大	㉓早大	4戦4敗	㉓早大
㉕早大	4戦4敗	㉕早大	㉔早大	4戦4敗	㉔早大
㉖早大	4戦4敗	㉖早大	㉕早大	4戦4敗	㉕早大
㉗早大	4戦4敗	㉗早大	㉖早大	4戦4敗	㉖早大
㉘早大	4戦4敗	㉘早大	㉗早大	4戦4敗	㉗早大
㉙早大	4戦4敗	㉙早大	㉘早大	4戦4敗	㉘早大
㉚早大	4戦4敗	㉚早大	㉙早大	4戦4敗	㉙早大
㉛早大	4戦4敗	㉛早大	㉚早大	4戦4敗	㉚早大
㉜早大	4戦4敗	㉜早大	㉛早大	4戦4敗	㉛早大
㉝早大	4戦4敗	㉝早大	㉜早大	4戦4敗	㉜早大
㉞早大	4戦4敗	㉞早大	㉝早大	4戦4敗	㉝早大
㉟早大	4戦4敗	㉟早大	㉞早大	4戦4敗	㉞早大
㊱早大	4戦4敗	㊱早大	㉟早大	4戦4敗	㉟早大
㊲早大	4戦4敗	㊲早大	㊱早大	4戦4敗	㊱早大
㊳早大	4戦4敗	㊳早大	㊲早大	4戦4敗	㊲早大
㊴早大	4戦4敗	㊴早大	㊳早大	4戦4敗	㊳早大
㊵早大	4戦4敗	㊵早大	㊴早大	4戦4敗	㊴早大
㊶早大	4戦4敗	㊶早大	㊵早大	4戦4敗	㊵早大
㊷早大	4戦4敗	㊷早大	㊶早大	4戦4敗	㊶早大
㊸早大	4戦4敗	㊸早大	㊷早大	4戦4敗	㊷早大
㊹早大	4戦4敗	㊹早大	㊸早大	4戦4敗	㊸早大
㊺早大	4戦4敗	㊺早大	㊹早大	4戦4敗	㊹早大
㊻早大	4戦4敗	㊻早大	㊺早大	4戦4敗	㊺早大
㊼早大	4戦4敗	㊼早大	㊻早大	4戦4敗	㊻早大
㊽早大	4戦4敗	㊽早大	㊼早大	4戦4敗	㊼早大
㊾早大	4戦4敗	㊾早大	㊽早大	4戦4敗	㊽早大
㊿早大	4戦4敗	㊿早大	㊾早大	4戦4敗	㊾早大

ミカドハンドボール



日本ハンドボール協会公認球



三カド商會

東京・豊島・巢鴨・7丁目1696
TEL (941) 2635・6592

地方球界の歩み

北から……南から……②

愛知県 (1)

愛知県のハンドボール界は、他ともに許す日本のハンドボール界の中心勢力である。

愛知県のハンドボール界が獲得した全国タイトルの数を並べれば、この「誇り」はいっそうはつきりする。

全国高校選手権(男)	11
全日本総合選手権(女)	2
国体一般男子	8
国体一般女子	2
国体高校男子	4
国体高校女子	8
全日本室内選手権(女)	3
全日本実業団選手権(女)	3

愛知県のハンドボールの創始は、昭和15年に東邦商業が第11回明治神宮体育大会に出場、中学男子の部で準優勝した記録がある。戦前からということになるのだが、この記録を除いては特に目立った活動はない。やはり軌道に乗った動きをみせ始めたのは昭和22

年ごろから。そのきっかけは、津野年一氏が熱田中にクラブを設けたことだ。それ以後、県中体連の発足から宇津野氏、花畑平男氏などが普及、指導面に努力し、今日の隆盛の基礎を築いた。県協会の誕生は昭和22年の第2回国体(石川)に熱田中が出場したとき、急に設立された。昭和26年桜台高の全国制覇で一躍国内のトップゾーンに躍り出た。このため高校男女チームが年ごとに増し、さらに一般チームの誕生へつながった。そしていまやそのチームは、一般男子16、一般女子2、大学男子4、高校男子36、高校女子20で全国屈指の大大帯に発展した。特に高校界の充実が全国第一位を誇るものである。

県協会の運営も円滑である。ことし小杉仁造愛知紡社社長を五代目会長に、栗脇稔理事長以下11人の常任理事、31人の理事。特に地方支部の積極的な活動ぶりは注目すべきものがある。ことし2月の全日本実業団選手権は、豊橋市ハンドボール協会が一切の指揮をとるなど他府県に見られぬ強力な体制

が整えられている。このほか名古屋支部、尾張支部、西三河支部などの活躍もめざましい。こうした組織力によって日独、日本ルーマニア、日韓などの国際試合。さらには第1回全日本総合、第四回全日本室内などのビッグイベントがまわめてスムーズに運営された。また地元報道関係との結びつきが深いのも特色であり、力となつている。くわしい県球史などその戦歴は次第に掲載する。(統)

茨城県 (その2) 完

昭和33年には山梨県で開かれた関東選手権で全茨城(男)は2位、全茨城(女)、水海道二高(女子高校)が優勝した。次いで富山国体に出場し、全茨城(男)は8位、全茨城(女)は3位、また水海道二高(女子高校)は熊本市立高を5-4で破って国体で初優勝した。この結果皇后杯得点で第1位を獲得した。また第1回県教職員選手権を開いて教員層への普及につとめた。第1回全日本教職員選手権には22-12で奈良代表を破って初優勝するなど、県ハンドボール界の力は年ごとに伸びて行った。34年には関東大会を土浦市で開き、第14回東京国体には全茨城(男女)、水海道二高の三チームが出場、天皇杯得点第8位の成績をあげた。35年夏の県高校大会の帰途、高体連委員長の菊地陽三氏(水戸工高教諭、一般男子全茨城チ

ム主持)が交通事故で死去された。水戸工高の選手たちは菊地先生の遺志をついて猛練習し、その年の熊本国体には堂々と出場した。また水海道二高は全日本総合選手権、全日本室内総合選手権に出場して、いずれも三位に入賞という好成績をおさめた。36年には故菊地陽三氏の功績をしのぶため「菊地杯大会(高校)」を創設し、教え子(水戸工高)が優勝したことは快挙であった。第7回関東高校選手権を笠間市で開き、64チームが参加し盛大だった。水海道二高は第12回全国高校2位、第16回秋田国体(湯沢市)でライバルの静岡城北高を4-3で破り、国体二度目の優勝を飾った。

37年には水海道二高出身の塚原(愛知紡)、古谷(大崎電機)田村(大崎電機)の三人が第2回世界征の全日本高校(男)選抜チームに大槻(石岡一高)が選ばれた。第5回全日本教職員大会に全茨城教員チームは2位、岡山国体に全茨城(男)は2回戦に進み、水海道二高は3位となった。第12回県総合選手権大会には一般、高校、中学の男女チーム合計37、第8回県室内大会には23チームが参加した。38年5月現在の登録チームは高校男子11、高校女子11、中学男女13、実業団3、クラブの計45チームです。(了)

投げ良い 受け良い

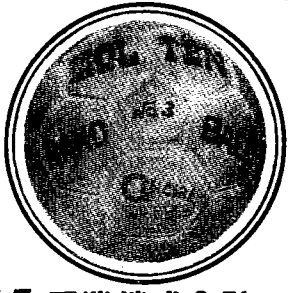
ダイヤモンド型(32面体)

モルテンハンドボール

※貼りハンドボール3号……1,650円
2号……1,550円

日本ハンドボール協会 公認球

モルテン工業株式会社



地方だより

愛知紡、貫録示す
第15回東海選手権(9月14日、岐阜市)

▽一般男子リーグ戦
清商 24-10 本田技研
清商(愛知) 33-15 全岐(三重)

▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)
▽清商(三重) 24-10 本田技研

▽清商(三重) 24-10 本田技研
▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)

▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)
▽清商(三重) 24-10 本田技研

▽清商(三重) 24-10 本田技研
▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)

▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)
▽清商(三重) 24-10 本田技研

▽清商(三重) 24-10 本田技研
▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)

▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)
▽清商(三重) 24-10 本田技研

▽清商(三重) 24-10 本田技研
▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)

▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)
▽清商(三重) 24-10 本田技研

▽清商(三重) 24-10 本田技研
▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)

▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)
▽清商(三重) 24-10 本田技研

▽清商(三重) 24-10 本田技研
▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)

▽清商(愛知) 33-15 全岐(三重)
▽清商(三重) 24-10 本田技研

明(東京)星 18(9-1-7) 12(神奈川) 翠(嵐) 9(1-5) 3(度目の優勝)
▽女子準々決勝
太田二女 10-1 山梨学院
水海道二女 13-5 国学院
水海道二女 6-1 山梨学院

▽水海道二女 13-5 国学院
▽水海道二女 6-1 山梨学院
▽水海道二女 10-1 山梨学院

▽水海道二女 10-1 山梨学院
▽水海道二女 13-5 国学院
▽水海道二女 6-1 山梨学院

▽水海道二女 6-1 山梨学院
▽水海道二女 10-1 山梨学院
▽水海道二女 13-5 国学院

▽水海道二女 13-5 国学院
▽水海道二女 6-1 山梨学院
▽水海道二女 10-1 山梨学院

▽水海道二女 6-1 山梨学院
▽水海道二女 13-5 国学院
▽水海道二女 10-1 山梨学院

▽水海道二女 10-1 山梨学院
▽水海道二女 6-1 山梨学院
▽水海道二女 13-5 国学院

▽水海道二女 13-5 国学院
▽水海道二女 10-1 山梨学院
▽水海道二女 6-1 山梨学院

▽水海道二女 6-1 山梨学院
▽水海道二女 13-5 国学院
▽水海道二女 10-1 山梨学院

▽水海道二女 10-1 山梨学院
▽水海道二女 6-1 山梨学院
▽水海道二女 13-5 国学院

▽水海道二女 13-5 国学院
▽水海道二女 10-1 山梨学院
▽水海道二女 6-1 山梨学院

▽水海道二女 6-1 山梨学院
▽水海道二女 13-5 国学院
▽水海道二女 10-1 山梨学院

▽水海道二女 10-1 山梨学院
▽水海道二女 6-1 山梨学院
▽水海道二女 13-5 国学院

▽水海道二女 13-5 国学院
▽水海道二女 10-1 山梨学院
▽水海道二女 6-1 山梨学院

▽水海道二女 6-1 山梨学院
▽水海道二女 13-5 国学院
▽水海道二女 10-1 山梨学院

大阪市の初優勝
第14回五大都市(大阪・名古屋・横浜・神戸・京都)体育大会(7月12、13、14日京都府)
一回戦
大阪市 20-14 神戸市
大阪市 14-16 神戸市

▽一回戦
大阪市 20-14 神戸市
大阪市 14-16 神戸市

▽一回戦
大阪市 14-16 神戸市
大阪市 20-14 神戸市

▽一回戦
大阪市 14-16 神戸市
大阪市 20-14 神戸市

▽一回戦
大阪市 20-14 神戸市
大阪市 14-16 神戸市

▽一回戦
大阪市 14-16 神戸市
大阪市 20-14 神戸市

▽一回戦
大阪市 20-14 神戸市
大阪市 14-16 神戸市

▽一回戦
大阪市 14-16 神戸市
大阪市 20-14 神戸市

▽一回戦
大阪市 20-14 神戸市
大阪市 14-16 神戸市

▽一回戦
大阪市 14-16 神戸市
大阪市 20-14 神戸市

▽一回戦
大阪市 20-14 神戸市
大阪市 14-16 神戸市

▽一回戦
大阪市 14-16 神戸市
大阪市 20-14 神戸市

▽一回戦
大阪市 20-14 神戸市
大阪市 14-16 神戸市

▽一回戦
大阪市 14-16 神戸市
大阪市 20-14 神戸市

▽一回戦
大阪市 20-14 神戸市
大阪市 14-16 神戸市

東根山形 17(11-6-9) 青(青森) 16(7-9)
盛岡一 19(8-11-4) 仙台一 12(11-8-4)
盛岡商 21(13-8-4) 東根一 11(7-4-11)

▽盛岡一 19(8-11-4) 仙台一 12(11-8-4)
▽盛岡商 21(13-8-4) 東根一 11(7-4-11)

▽盛岡一 12(11-8-4) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 11(7-4-11) 東根一 21(13-8-4)

▽盛岡一 11(7-4-11) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 7(4-11-13) 東根一 21(13-8-4)

▽盛岡一 7(4-11-13) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 11(7-4-11) 東根一 21(13-8-4)

▽盛岡一 11(7-4-11) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 7(4-11-13) 東根一 21(13-8-4)

▽盛岡一 7(4-11-13) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 11(7-4-11) 東根一 21(13-8-4)

▽盛岡一 11(7-4-11) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 7(4-11-13) 東根一 21(13-8-4)

▽盛岡一 7(4-11-13) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 11(7-4-11) 東根一 21(13-8-4)

▽盛岡一 11(7-4-11) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 7(4-11-13) 東根一 21(13-8-4)

▽盛岡一 7(4-11-13) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 11(7-4-11) 東根一 21(13-8-4)

▽盛岡一 11(7-4-11) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 7(4-11-13) 東根一 21(13-8-4)

▽盛岡一 7(4-11-13) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 11(7-4-11) 東根一 21(13-8-4)

▽盛岡一 11(7-4-11) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 7(4-11-13) 東根一 21(13-8-4)

▽盛岡一 7(4-11-13) 仙台一 19(8-11-4)
▽盛岡商 11(7-4-11) 東根一 21(13-8-4)

福島教員 29(15-14-4) 宮城教員 10(6-6-10)
▽同決勝
福島教員 24(14-10-4) 大曲教員 11(7-11-11)
▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

▽第2回東京都中学体育大会ハン
ドボール競技(9月7-8日、新宿一)

欄

書

投

地区大会のオープン化

本誌14号で知ったことだが、3月久留米で開かれた九州近県選手権大会に、大阪の桃山大や東京の大崎電気が参加しているのは興味深かった。地区大会というとその地域だけのチームが集まって、ともすれば同一チームの常勝が続くおもしろみに欠ける。もし地区大会参加の資格を他地区のチームに限ってオープン化すれば、大会そのものが充実し、当該地区の水準向上にも役立つのではないかと思う。またローカル・タイトルが意外に軽視されがちなことも、これによって改められればこの上ないと思う。たとえば東海地区のあるチームが「東京選手権」を奪い取りに行くというのではなく、東京地区の強チームに「試合を求め

て行く」という形。こうなれば球界にとっ好ましい傾向といえる。関係者の一考を求めたいと思う(愛知・桐生重孝・会社員)

11人制の特別大会を

4月から7人制になったが、国内的にも国際的にも11人制で育ったプレイヤーの数は圧倒的に多い。11人制になじんだ小生としては、屋外での味を忘れることができない。11人制が全姿を消すことに寂しさを感じる。そこで提案。年一度、11人制の特別大会を開いてもらうことはできないだろうか。国際的に11人制が全く消滅してしまっただけではない。もちろん「11人制選手権」といった大げさな形式のものではなく、懇親試合の形式でも、親善対抗戦でもよいと思う。時代に逆行するオールドブレイヤーのたわごと

に聞えるかもしれないが、案外こんな気持ちを持っている者も多いのである。……(東京・戸田文吉)

専用グラウンドを設けよ

ハンドボールという競技は相変わらず人に知られたスポーツではないようです。中・高校生や学生の間には普及していますが、おとなの人にはあまり知られていません。その原因は東京とか大阪に専用グラウンドを持っていないことです。一日も早く専用グラウンドを造るよう、協会関係者の努力を期待したいと思えます。また、そのような計画の有無を、貴誌で特集していただけたらと思います(東京・白木百合子・高校生)

編集後記

▽：国際審判講習会(パリ)に若崎、藤本両氏が出席したので、本号はこの両氏の報告を兼ねて会議の内容、西ドイツのハンドボールについて執筆してもらった。またユニバシアードに参加した勝氏にも執筆を依頼しました。西ドイツのハンドボールが手に取るようにわかるほどくわしく書いていただいた。次号(16号)にも若崎、藤本両氏になにか書いてもらう予定です。▽：立大が全日本学生、全日本総合選手権に優勝した。これは1963年のビッグニュースのトップを行くもの(?)と思う。立大の努力には敬意を表したい。本誌が出るころは秋のリーグ戦、国体、学生王座決定戦が終了しているころです。日体大、芝浦工大の追い込みが見ものというところ。▽：日韓学生親善試合の記録は馬場副会長、杉山NHK記者のご協力です。ありがとうございました。また杉山記者は戦前の関東学生リーグの記録を収集、本号から掲載しました。▽：世界7人制選手権の組み合わせが決まり、協会はその準備に追われている。ベストメンバーで善戦されんことを祈るのみ。

問 全日本選手権で初優勝した立大の最近年間の全日本での成績をお知らせください(兵庫・村上利男)

答 昭和34年以後の5年間をお答えします。昭和34年は不参加。35年は全立大として出場、2回戦で芝浦工大に24-17、36年は3回戦で全日体大に21-14で、昨年では2回戦で芝浦工大に22-13で敗れています。

欄 問 質

問 第1回国民体育大会(昭和21)のとき、学生東西対抗として行なわれた大阪歯専対早大は、学生王座がかげられていましたか(東京・木村 英)

答 別にそのような申し合わせ

問 昭和31年来日した西独チームと対戦した日本チームのシュート数、反則数などはわかりますか。(熊本・大谷重治)

答 各試合のシュート(S)と反則数(F)をお答えします。▽全日本学生 S 29 F 11

▽全日体大 S 24 F 14

▽全日大 S 34 F 10

▽全九州 S 36 F 12

▽全山口 S 23 F 9

▽関東学生 S 40 F 18

▽全日本(東京) S 32 F 11

答 今夏を含めて四回です。昭和35年は二年連続して両者の対決でした。▽昭32 桜台 18-10 中京商

▽昭35 中京商 12-11 桜台

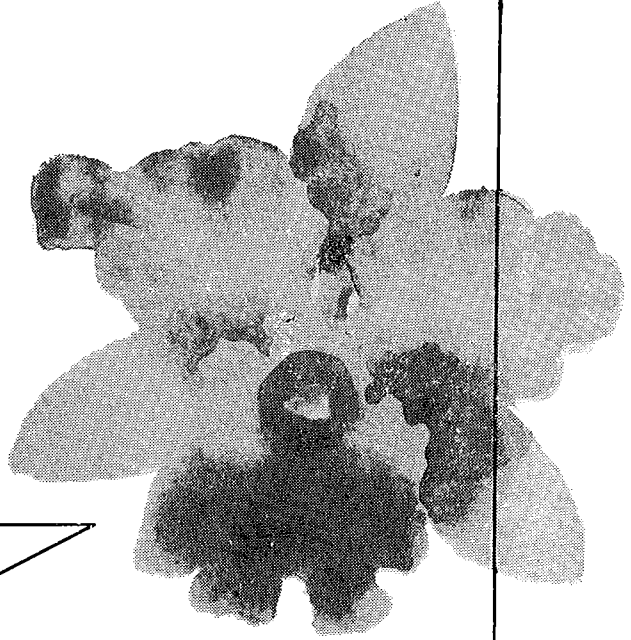
▽昭36 中京商 13-12 桜台

▽昭38 桜台 14-13 中京商

▽：全日本総合、国体で愛知紡がレナウで東京に敗れて大番狂わせ。女子のレベルが上がったことを証明した。全日本室内で愛知紡のまき返しが見えます。国体で大崎電気が埼玉県から出場したが、地方のレベルを引き上げる意味で大きなプラス。埼玉工場にアンソニーカーのコート二面を持っているのはさすが。

▽：巻頭言にたいする注文があれば本誌編集部まで。(ふぐ)

Aibo
アイボ-



- | | | | | | | | |
|-----|---|---|-----|---|---|----|---|
| ■ シ | ー | ツ | ■ ネ | グ | リ | ジ | エ |
| ■ ブ | ラ | ウ | ■ デ | ニ | ム | | |
| ■ 座 | 布 | 団 | ■ ベ | ビ | ー | 用 | 織 |
| ■ カ | ー | テ | ■ 各 | 種 | パ | イル | 織 |
| ■ 夜 | 具 | 裏 | ■ 各 | 種 | 原 | 糸 | |

繊維総合メーカー

愛知紡績株式会社

名古屋市中区南園町 2 - 4
工場 安城・名古屋・半田・常滑
営業所 東京・大阪

●雄大な
ジューキのビジョン

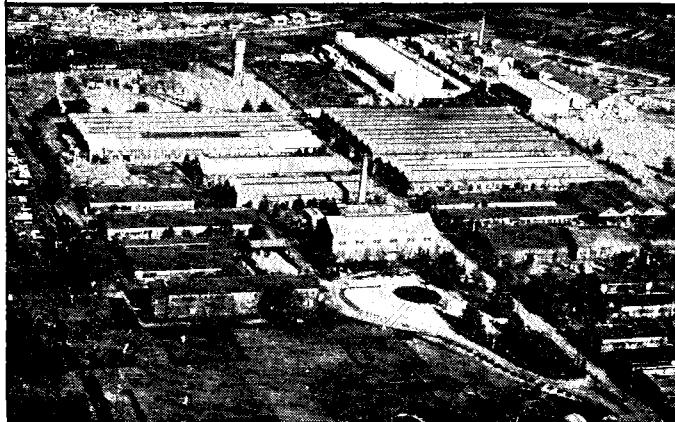
年成長率50%、家庭用・工業用ミ
シンと、その附帯設備、編機、電
子計算機入出力装置で今日の地位
を築きました。

これからは、〈家庭用・産業用〉
電気製品に進出。

資本金も12億1千万円に……

体制も整いました。

満を持して、世界を相手の競争に
たちむかいます。



ジューキ

ミシン(家庭用・工業用)
編機 掃除機
縫製附帯設備
プレス 電子機器

東京重機工業株式会社

本社・工場 東京都調布市国領9660 TEL 416 2121

日本ハンドボール協会編

第十五号

昭和三十八年十一月
昭和三十八年十一月

十日印刷

発行所

日本ハンドボール協会

東京都千代田区神田駿

一〇六

電話(261)九五一一〜五

編集兼
高 嶋

列

定価八十円
(半)二十円